島本町文化財調査報告書

第 46 集

水無瀬地区・青葉地区・広瀬地区・山崎地区・桜井地区
遺跡範囲確認調査概要報告

令和 5 年 3 月

島 本 町 教 育 委 員 会

島本町文化財調査報告書
第46集
令和5年3月
島本町教育委員会

表紙（第46集）.indd 1 2023/03/08 16:47:18

島本町文化財調査報告書

第46集

令和5年3月

島本町教育委員会

表紙（第46集）.indd　3　2023/03/08　16:47:18

序　　文

本書は、町内の遺跡の広がりを把握することを目的に、令和４年度に国庫補助事業として実施した発掘調査の報告書です。本年度は、広瀬地区において２件の他、水無瀬地区、青葉地区、山崎地区、桜井地区で各１件の範囲確認調査を実施しました。このうち、広瀬地区での調査は広瀬遺跡内において、山崎地区での調査は山崎西遺跡内において実施したものです。

今回の発掘調査では、広瀬地区の調査１件において中世の遺構を確認するとともに、新規遺跡の発見もありました。埋蔵文化財包蔵地外であった青葉地区における調査では、調査地内に中世の遺物包含層が存在することが確認でき、調査地を新たに青葉南遺跡として周知するという成果を得ました。これにより、現在、町内においては 26 か所の埋蔵文化財包蔵地を確認するに至っています。

このように、国庫補助事業をはじめとする発掘調査によって、徐々にではありますが、町内における遺跡の実態が判明しつつあります。そして、このような成果が得られているのも、調査に関わる工事事業者や土地所有者の方々、近隣住民および関係諸機関の皆様のご理解とご協力によるものです。ここで、改めて皆様に感謝申し上げます。また、今後とも本町の発掘調査をはじめとする文化財保護の取組みに、町民の皆様のご理解とご協力賜れますようお願い申し上げます。

令和５年３月

島本町教育委員会
教 育 長　中村　りか

第46集.indd　1　　2023/03/09　17:13:15

例　　言

1　本書は、令和４年度国庫補助事業として、大阪府教育庁文化財保護課の指導のもと、島本町教育委員会が実施した、水無瀬地区、青葉地区、広瀬地区、山崎地区、桜井地区の遺跡範囲確認調査報告書である。

2　調査は、島本町教育委員会事務局教育こども部生涯学習課木村友紀・三井義勝・賀納章雄を担当者とし、調査は令和４年５月 11 日に着手し、令和４年 12 月 11 日に終了し、島本町立歴史文化資料館整理室で引き続き整理調査及び報告書作成業務を実施し、令和５年３月 31 日に本書の刊行をもって完了した。

3　調査及び整理作業にあたっては、下記の調査員及び調査補助員の参加を得た。

【調査員】坂根　瞬　【調査補助員】小出　匡子、眞子　悠乃

4　本書の執筆は第３章を木村、他を賀納が行い、作成編集は木村・賀納・坂根が行った。

5　本調査に関わる資料の保管と活用及び本調査によって作成された資料などの管理は、島本町教育委員会がこれにあたる。

凡　　例

1　本書に用いた標高は、東京湾平均海水面（T.P.〔Tokyo Peil〕）を基準とした数値である。方位は、国土座標第Ⅳ系における座標北である。

2　土層断面図の土色は、小山正恵・竹原秀夫編『新版標準土色帖』第 12 版を使用した。

3　遺構記号については、Ｐ：ピットである。

第46集.indd　2　　2023/03/09　17:13:15

目　　次

第１章　はじめに ---------- 1
　第１節　島本町の地理的概要 ---------- 1
　第２節　島本町の歴史的環境 ---------- 2
第２章　調査の概要 ---------- 5
　第１節　令和４年度調査の概要 ---------- 5
　第２節　水無瀬地区（ＭＳＴ 22 － 1） ---------- 6
　第３節　青葉地区（ＡＢＴ 22 － 1） ---------- 8
　第４節　広瀬地区（ＨＳ 22 － 1　新堤内） ---------- 14
　第５節　広瀬地区（ＨＳ 22 － 1　内街道） ---------- 18
　第６節　山崎地区（ＹＮ 22 － 1　後山） ---------- 20
　第７節　桜井地区（ＳＩＴ 22 － 1） ---------- 23
第３章　令和４年度埋蔵文化財発掘調査概要 ---------- 25

挿図目次

第１図　島本町内遺跡分布図（1/20,000） ---------- 3
第２図　水無瀬地区（ＭＳＴ 22 － 1）調査地位置図 ---------- 6
第３図　水無瀬地区（ＭＳＴ 22 － 1）平面図 ---------- 7
第４図　水無瀬地区（ＭＳＴ 22 － 1）断面図 ---------- 7
第５図　青葉地区（ＡＢＴ 22 － 1）調査地位置図 ---------- 8
第６図　青葉地区（ＡＢＴ 22 － 1）平面図① ---------- 9
第７図　青葉地区（ＡＢＴ 22 － 1）平面図② ---------- 10
第８図　青葉地区（ＡＢＴ 22 － 1）断面図① ---------- 11
第９図　青葉地区（ＡＢＴ 22 － 1）断面図② ---------- 12
第10図　青葉地区（ＡＢＴ 22 － 1）遺物実測図 ---------- 13
第11図　広瀬地区（ＨＳ 22 － 1　新堤内）調査地位置図 ---------- 14
第12図　広瀬地区（ＨＳ 22 － 1　新堤内）平面図 ---------- 15
第13図　広瀬地区（ＨＳ 22 － 1　新堤内）断面図 ---------- 16
第14図　広瀬地区（ＨＳ 22 － 1　新堤内）遺物実測図 ---------- 17
第15図　広瀬地区（ＨＳ 22 － 1　内街道）調査地位置図 ---------- 18
第16図　広瀬地区（ＨＳ 22 － 2　内街道）調査グリッド配置図 ---------- 19

第17図　広瀬地区（ＨＳ 22 － 2　内街道）遺構平面図 ---------- 19
第18図　広瀬地区（ＨＳ 22 － 2　内街道）調査グリッド断面図 ---------- 19
第19図　広瀬地区（ＨＳ 22 － 2　内街道）遺構断面図 ---------- 19
第20図　山崎地区（ＹＮ 22 － 1　後山）調査地位置図 ---------- 20
第21図　山崎地区（ＹＮ 22 － 1　後山）平面図 ---------- 21
第22図　山崎地区（ＹＮ 22 － 1　後山）断面図 ---------- 22
第23図　桜井地区（ＳＩＴ 22 － 1）調査地位置図 ---------- 23
第24図　桜井地区（ＳＩＴ 22 － 1）平面図 ---------- 24
第25図　桜井地区（ＳＩＴ 22 － 1）断面図 ---------- 24

付　　表

付表１　本報告書掲載遺跡 ---------- 5
付表２　令和４年度　埋蔵文化財発掘の届出・通知の工事目的内訳 ---------- 25
付表３　令和４年度　土木工事計画届出書の工事目的内訳 ---------- 25
報告書抄録 ---------- 巻末

図版目次

図版一　水無瀬地区（ＭＳＴ 22 － 1）
　１Ｇ掘削作業風景（西から）
　１Ｇ南壁
　２Ｇ近景（北から）
　２Ｇ南壁
　３Ｇ近景（南西から）
　３Ｇ南壁
　４Ｇ近景（南東から）
　４Ｇ南壁
図版二　青葉地区（ＡＢＴ 22 － 1）（一）
　１Ｇ近景（東から）
　１Ｇ東壁
　２Ｇ西壁
　３Ｇ南壁
　４Ｇ東壁
　５Ｇ東壁
　６Ｇ西壁
　７Ｇ西壁
図版三　青葉地区（ＡＢＴ 22 － 1）（二）
　８Ｇ南壁
　９Ｇ北壁
　10 Ｇ近景（南から）
　10 Ｇ西壁
　11 Ｇ西壁
　12 Ｇ北壁
　13 Ｇ近景（南西から）
　13 Ｇ西壁
図版四　広瀬地区（ＨＳ 22 － 1　新堤内）
　１Ｇ近景（北から）
　１Ｇ南壁
　２Ｇ近景（北から）
　２Ｇ南壁

３Ｇ南壁
４Ｇ南壁
５Ｇ南壁
実測風景
図版五　広瀬地区（ＨＳ 22 － 2　内街道）
調査地近景（西から）
調査区北壁
遺構検出状況（西から）
遺構検出状況（南から）
Ｐ１（半掘）
Ｐ１（完掘）
Ｐ２
Ｐ３・４
図版六　山崎地区（ＹＮ 22 － 1　後山）
調査地近景（北から）
１Ｇ西壁
２Ｇ西壁
３Ｇ西壁
４Ｇ西壁
５Ｇ西壁
６Ｇ西壁
６Ｇ掘削状況（南から）
図版七　桜井地区（ＳＩＴ 22 － 1）（一）
１Ｇ近景（北から）
１Ｇ南壁
１Ｇ南壁
２Ｇ掘削風景（北から）
２Ｇ近景（北から）
２Ｇ東壁
２Ｇ東壁
３Ｇ掘削風景（南から）
図版八　桜井地区（ＳＩＴ 22 － 1）（二）
３Ｇ近景（南から）
３Ｇ西壁
４Ｇ掘削風景（北から）
４Ｇ南壁
５Ｇ掘削風景（西から）
５Ｇ南壁
６Ｇ近景（北から）
６Ｇ南壁

第46集.indd　6　　2023/03/09　17:13:15

第１章　はじめに

第１節　島本町の地理的概要

島本町は、大阪府の北東端部、京都府との境に位置し、その東側は北から京都府京都市、長岡京市、大山崎町、八幡市と、西側は大阪府高槻市、南端は大阪府枚方市と隣接する。町域は、概ね南北約７㎞、東西約４㎞の範囲に南北に細長く広がり、面積は約 16.81㎢となる。

その地形は、町域の西から北側が山地・丘陵地、東から南側は平野部となるが、山地・丘陵地が町域の約７割を占めている。島本町史によると、山地部は北摂山地の東端に当たり、中でも京都盆地と接して南北走する山地部を西山山塊とよび、西山山塊のうち町域の北側にはポンポン山山地が連なり、その南東側に一段低い天王山山地がある。これらの山地部は主に丹波層群によって構成され、砂岩、頁岩、チャート等の岩石からなる。そして、天王山山地の南側には狭い範囲ながら山崎・桜井丘陵とよばれる丘陵地がみられ、主に大阪層群によって構成されている。

また、平野部は、９～ 13 m程度の標高で広がり、主に河川堆積物によって構成され、淀川低地とよばれる。本町南東の山崎狭隘においては、京都盆地から流れ込む桂川、宇治川、木津川の三川が合流し、淀川となって大阪平野を西流するが、本町には、淀川のほか、山地・丘陵地を源とする水無瀬川、善峰川、滝谷川、鈴谷川、越谷川、八幡川、西谷川等の河川があり、水無瀬川を除いては、山地・丘陵部から短く平野部に流れ出るという小規模なものが多い。淀川低地は、主に淀川からの供給物によって構成されるが、水無瀬川等の他の河川からの堆積物によっても構成され、小河川付近には扇状地地形が広がる。また、水無瀬川沿いには、河岸段丘地形がみられる箇所もある。

島本町は、古代の国郡制においては摂津国島上郡に属するが、東は山城国に接し、その地勢から交通の要衝となっていた。南に流れる淀川は水運の重要な交通路であり、特に長岡京・平安京遷都以降はその重要性は増していった。平安時代、山崎（大山崎町域も含め）には津が整備され、またさかのぼる奈良時代には架橋もされ、淀川を介した島本町付近の地域的重要性がわかる。さらに、水運ばかりでなく、淀川と丘陵部との間に挟まれた平野部上においては、京と西国を結ぶ山陽道（西国街道）が通り、陸路においても重要な幹線路が貫いていた。現在も町域には、ＪＲ東海道線、東海道新幹線、阪急電鉄京都線、国道 171 号等、重要な交通幹線が通っており、大阪と京都を結ぶ中間地点としても、古来より島本町の地勢的位置づけは重要性の高いものであった。

第46集.indd　1　　2023/03/09　17:13:15

第２節　島本町の歴史的環境

島本町域における人々の活動の痕跡をたどると、古くは旧石器時代にまでさかのぼる。丘陵上に位置する山崎西遺跡では、国府型ナイフ形石器やサヌカイト剥片が数点採集されており、後期旧石器時代におけるキャンプサイトなどの存在が想定される。

縄文時代になると、丘陵上に位置する越谷遺跡において縄文時代中期の土器片が多数出土している。また、越谷遺跡に接して丘陵裾部から平野部かけて広がる尾山遺跡においても、縄文時代後期から晩期にかけての遺物が出土し、谷地形の埋没土からは縄文時代後期の土器片がまとまって出土している。このほか、平野部に広がる広瀬遺跡では縄文時代晩期の竪穴式建物跡が確認されており、集落が展開していた可能性が考えられている。

弥生時代では、尾山遺跡において弥生時代前期から後期にかけての遺物の出土が見られ、後期の銅鏃なども出土している。そして、弥生時代中期以降、水田跡や溝など耕作に関わる遺構が多く検出されている。また、桜井駅跡では弥生時代前期の遺物が出土しているが、弥生時代中期になると、青葉遺跡Ａ地点・Ｂ地点において竪穴式建物跡や溝が検出されており、桜井駅跡・広瀬溝田遺跡では耕作溝が見つかっている。これらはいずれも平野部に位置する遺跡であるが、尾山遺跡も含めて、この付近一帯において弥生時代中期には集落や耕作地が広がっていたものと考えられる。このほか、丘陵上に位置する越谷遺跡や伝待宵小侍従墓においては弥生時代後期の遺物の出土が認められている。

古墳時代においては、これまでのところ集落に関わる明確な遺構の検出は少ない。尾山遺跡では古墳時代初頭の水田跡が確認されているほか、円筒埴輪や朝顔形円筒埴輪等の破片が出土している。また、隣接する越谷遺跡では、名神高速道路建設工事に伴い出土した遺物の中に、古墳の副葬品と考えられる須恵器杯・壺、刀等の遺物がある。さらに、越谷遺跡の南方には源吾山遺跡と神内古墳群があり、これらは平野部を南に望む丘陵上に位置し、一続きの古墳群であろうと推定されている。源吾山遺跡は、横穴式石室の一部と考えられる石材の散布と、名神高速道路建設工事に伴い出土した副葬品と考えられる須恵器から古墳の存在が想定されており、島本町と高槻市とをまたいで広がる神内古墳群については、高槻市側で横穴式石室が確認されており、ほかに墳丘のような形状の地形が認められている。

飛鳥～奈良時代になると、丘陵部で瓦窯跡が確認されている。鈴谷瓦窯跡では、これまでに２基の窯跡が確認されており、出土瓦の特徴から７世紀末から８世紀初頭にかけてのものと考えられている。さらに、鈴谷瓦窯跡の南西側にある御所ノ平遺跡では竪穴式建物跡が見つかっており、建物跡内から鈴谷瓦窯跡と同様の瓦や粘土塊が出土していることから、瓦製作の工房跡の可能性が考えられている。また、令和２年度の発掘調査で、初めて御所池瓦窯跡の一部が確認された。出土瓦から７世紀後半から８世紀前半の操業であると考えられ、飛鳥寺東南禅院

第46集.indd　2　　2023/03/09　17:13:15

第１図　島本町内遺跡分布図（1/20,000）

第46集.indd　3　　2023/03/09　17:13:34

や高槻市梶原寺の出土瓦に同笵のものがあることが確認された。このほか、奈良時代中期には、水無瀬川右岸において東大寺領水無瀬荘が存在していたことが、正倉院に伝わる「摂津職嶋上郡水無瀬荘図」によって知られており、その付近一帯が水無瀬荘跡として周知されている。

ところで、古来より島本は水運・陸路とも交通の要衝であったが、続日本紀和銅四年正月丁未条には、平城京と西国とを結ぶ幹線道路上に駅伝制の駅が置かれたとあり、島本付近には大原駅が設置されたと考えられている。大原駅は平安時代前期のうちには廃止されたようであるが、長岡京・平安京遷都を経て平安時代になると、京と西国とを結ぶ交通の要衝としての島本の地の重要性は増していった。広瀬遺跡においては、西国街道沿いでの発掘調査で小石敷きの路面をもつ中世の道路状遺構が検出されている。そこでは平安時代の遺物も出土し、その整備は古代にまで遡る可能性が指摘されている。また、淀川河川敷にある広瀬南遺跡では、河道中より須恵器の大甕が発見されており、これは淀川の水運により運ばれてきたものではないかと考えられている。

さて、このような地勢にあった島本には、平安時代から鎌倉時代にかけて、天皇や貴族が度々遊行に水無瀬の地を訪れている。桓武天皇や嵯峨天皇は遊猟を好み、文徳天皇の子である惟喬親王はこの地に御殿を築いたという。広瀬遺跡においては平安時代前期の建物跡群が検出されているが、これは惟喬親王の水無瀬離宮関連施設の可能性が考えられている。また、鎌倉時代には、後鳥羽上皇が正治元（1199）年に水無瀬離宮を造営している。この水無瀬離宮は建保４（1216）年の洪水で倒壊したが、翌年には山上に再建されたという。広瀬遺跡では、後鳥羽上皇の水無瀬離宮に関連するものと考えられる建物跡や所用瓦が検出されており、また、丘陵上にある西浦門前遺跡では、庭園跡と考えられる遺構が検出されている。このほか、尾山遺跡においても平安時代から鎌倉時代にかけての建物跡が確認されているが、ここでは庭園に付随する可能性が考えられる池泉跡が検出されている。

その後、建武新政の終焉に、楠木正成・正行父子が別れた場所として太平記に記述のある桜井駅が、現在桜井駅跡として国史跡に指定されている。父子別れの場面は太平記という軍記物語の一場面であり、史実であるかどうかは不明であるが、これまでの発掘調査でこれに関する資料は得られていない。また、桜井駅の前身として、近辺に大原駅があったと考えられているが、これまでのところ、これら駅に関連する資料も確認されていない。ただし、桜井駅跡における発掘調査では、前述の弥生時代の遺構・遺物のほか、鎌倉時代、室町時代、江戸時代の遺構・遺物が検出されており、特に、室町時代から江戸時代にかけての井戸が複数まとまって見つかっている。

近世以降になると、この時期を対象とした発掘調査の成果は少ないが、山崎東遺跡において地下貯蔵庫の痕跡であろうと考えられる石組み遺構が検出されている。

第46集.indd 4 2023/03/09 17:13:36

第２章　調査の概要

第１節　令和４年度調査の概要

本調査事業は、平成 13 年度から国庫補助事業として、島本町内における周知の埋蔵文化財包蔵地内及び包蔵地外で、遺構・遺物の包含の有無等を確認することを目的に行っているものである。

令和４年度は６件の範囲確認調査及び試掘調査を実施した（令和４年 12 月時点）。埋蔵文化財包蔵地内では、広瀬地区所在の広瀬遺跡で２件、山崎地区所在の山崎西遺跡で１件の範囲確認調査を実施した。また、包蔵地外では、水無瀬地区、青葉地区、桜井地区の３地区で各１件の試掘調査を行った。

広瀬遺跡は、縄文時代から近世にかけての複合遺跡であり、山崎西遺跡は、旧石器が採集されている遺跡である。また、水無瀬地区での調査地周辺には桜井駅跡・広瀬溝田遺跡があり、青葉地区の調査地周辺には青葉遺跡 A 地点・B 地点が、桜井地区の調査地周辺には桜井遺跡・西浦門前遺跡が所在し、埋蔵文化財包蔵地外の調査地においても新たな遺跡発見の可能性は考えられた。そして今回、青葉地区での調査において中世の遺物の包含層を確認することができ、新規の埋蔵文化財包蔵地の発見となり、青葉南遺跡として周知するに至った。

本報告書では、これら６件の調査成果について報告する。

地区名	遺跡名（次数）	遺跡所在地	調査期間
水無瀬地区	埋蔵文化財包蔵地外 （ＭＳＴ 22 － 1）	水無瀬二丁目 729 番 1、729 番 5	令和４年５月 11 日 ・５月 18 日
青葉地区	青葉南遺跡 （ＡＢＴ 22 － 1）	青葉三丁目 150 番	令和４年６月 13 日 ～６月 21 日 ・10 月５日
広瀬地区	広瀬遺跡 （ＨＳ 22 － 1　新堤内）	広瀬二丁目 233 番 1	令和４年８月３日 ・８月５日
広瀬地区	広瀬遺跡 （ＨＳ 22 － 2　内街道）	広瀬四丁目 594 番 16	令和４年 11 月 30 日
山崎地区	山崎西遺跡 （ＹＮ 22 － 1　後山）	山崎四丁目 844 番 1、874 番 2、870 番 1、871 番 1、872 番、843 番 2	令和４年 10 月 13 日
桜井地区	埋蔵文化財包蔵地外 （ＳＩＴ 22 － 1）	桜井二丁目 1 番 1	令和４年 12 月９日 ～ 12 月 11 日

付表１　本報告書掲載遺跡

第46集.indd　5　　2023/03/09　17:13:36

第２節　水無瀬地区（ＭＳＴ 22 －１）

調査期間：令和４年５月 11 日（水）・令和４年５月 18 日（水）

調査地：大阪府三島郡島本町水無瀬二丁目 729 番１、729 番５

調査面積：15.4㎡

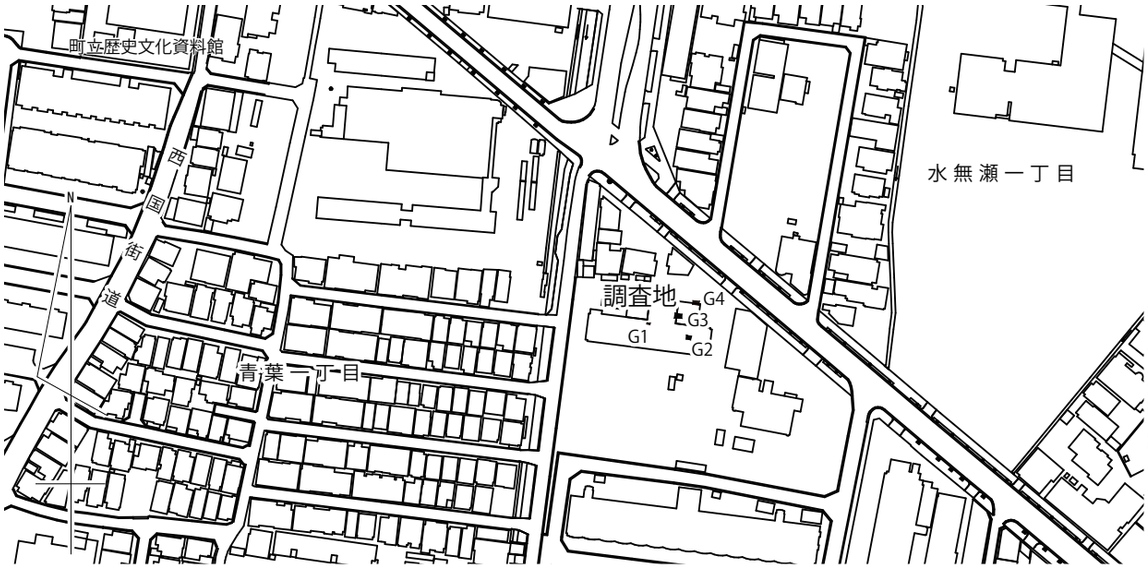
（１）調査の経過

今回の試掘調査は、共同住宅の建設計画に伴うものであり、計画地は埋蔵文化財包蔵地外であったが、事前に遺構・遺物包含の有無を確認することを目的に実施したものである。調査については、４か所の調査グリッド（１Ｇ～４Ｇ）を設定し、重機を用いて実施した。

（２）調査の成果

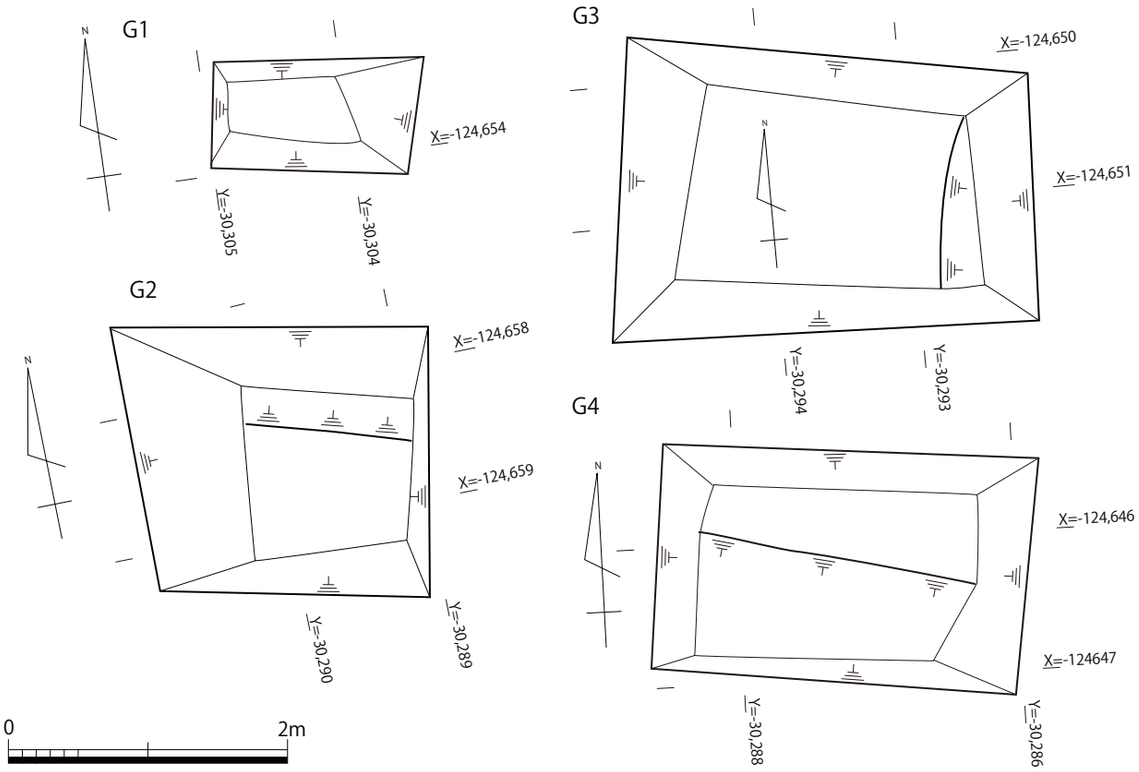
調査グリッドを掘削したところ、調査地内は以前の建築物等で地中深くまで攪乱を受けている範囲が広く、１Ｇと４Ｇでは掘削できた範囲内においてほとんどが攪乱を受けており、遺構・遺物は確認できなかった。

２Ｇと３Ｇでは、現地表面から約 1.6 mの深さで旧耕土層と考えられる暗灰色粘土層（第４層）の堆積があり、それ以下、主に灰色系・オリーブ色系の粘土層の堆積が認められた。これら土層のうち、２Ｇにおいては暗オリーブ灰色粘土層（第５a 層）、オリーブ灰色粘土層（第６層）、灰オリーブ色粘土層（第７a 層）の各土層内で、３Ｇにおいては明オリーブ灰色粘土層（第７b 層）内で、中世以前のものと考えられる遺物（土師器、須恵器）が少量検出された。これらの出土遺物は、細片であり、磨滅していることから、他所からの流れ込みによるものと考えられ、他に一次的な堆積による明確な遺構・遺物等は確認できなかった。

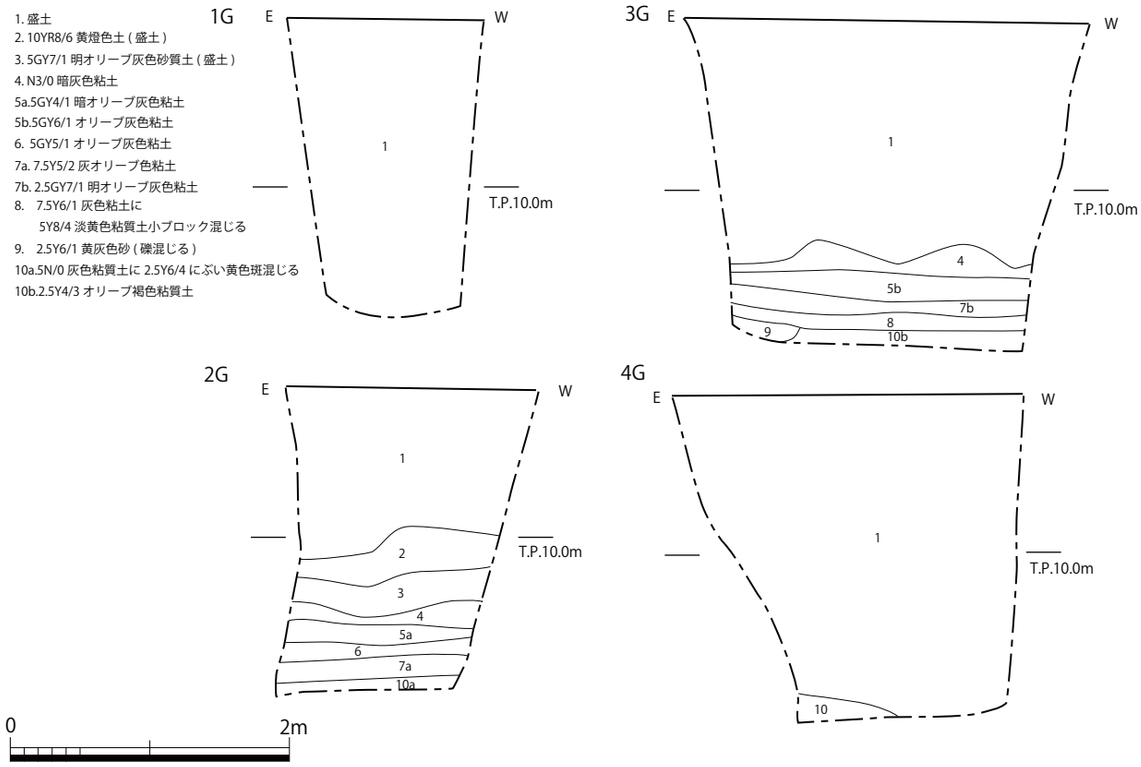


第２図　水無瀬地区（ＭＳＴ 22 －１）調査地位置図（1/2,500）

第46集.indd　6　　2023/03/09　17:13:36



第３図　水無瀬地区（ＭＳＴ 22－１）平面図（1/50）



第４図　水無瀬地区（ＭＳＴ 22－１）断面図（1/50）

第46集.indd　7　　2023/03/09　17:13:36

第３節　青葉地区（ＡＢＴ 22 －１）

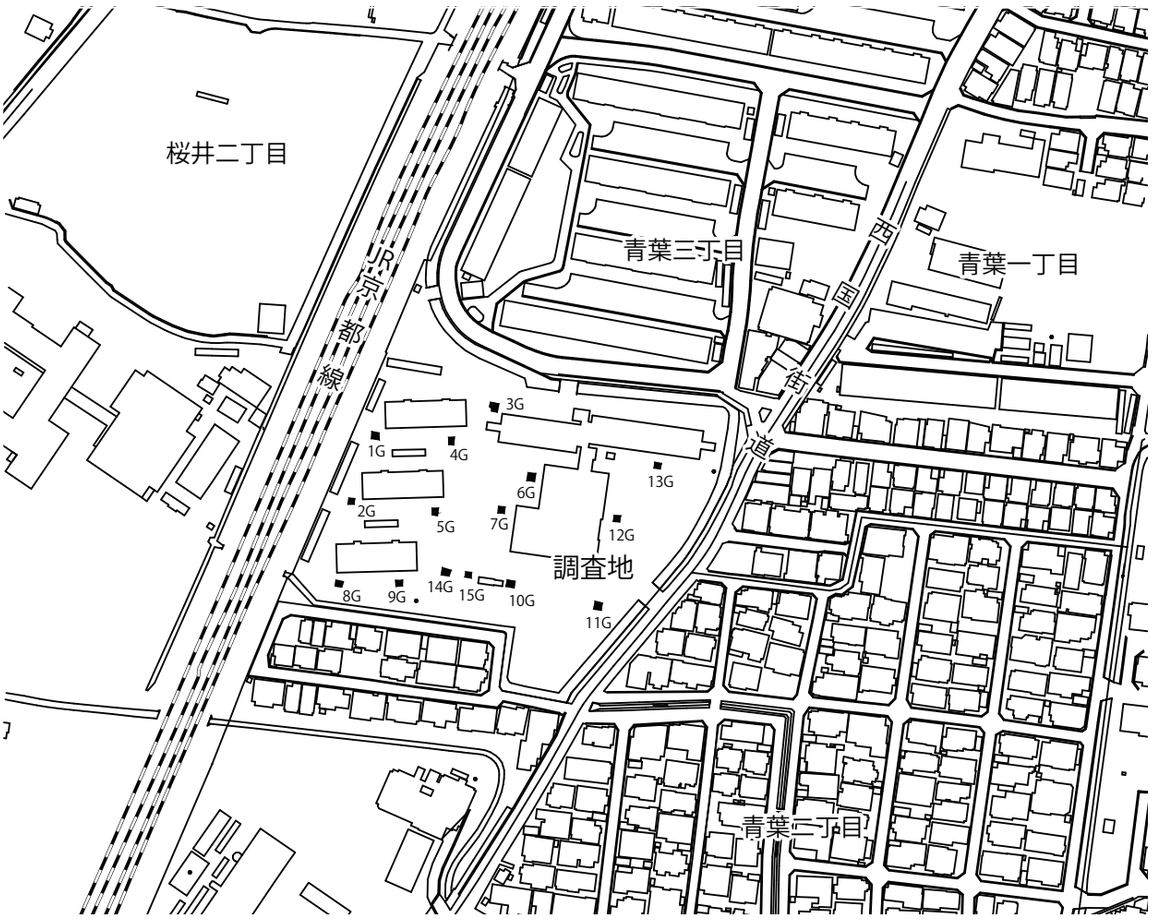
調査期間：令和４年６月 13 日（月）～令和４年６月 21 日（火）、令和４年 10 月５日（水）

調査地：大阪府三島郡島本町青葉三丁目 150 番

調査面積：118.4㎡

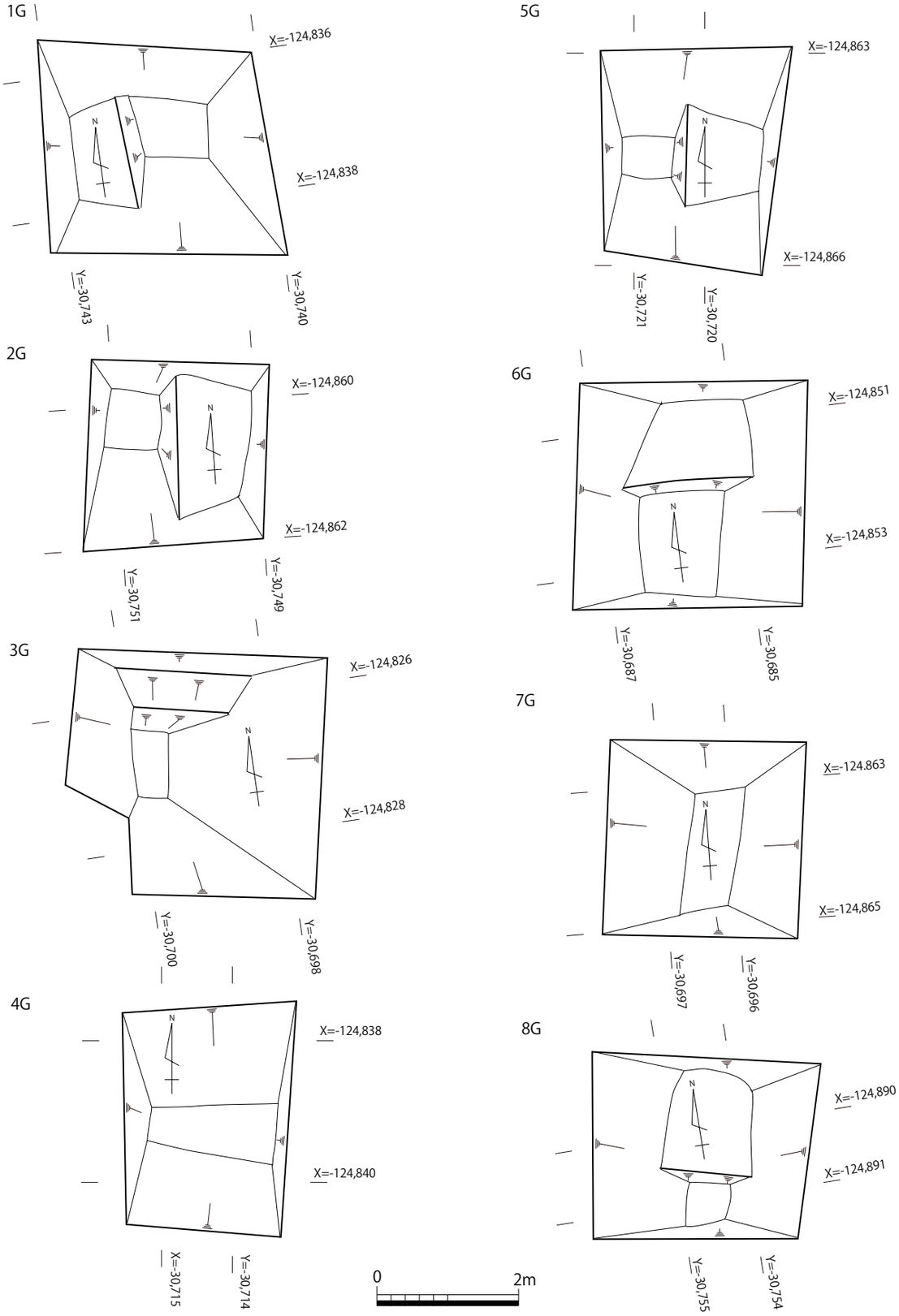
（１）調査の経過

今回の調査は、共同住宅の建設計画に伴うもので、計画地は埋蔵文化財包蔵地外であったが、事前に遺構・遺物包含の有無を確認することを目的に実施したものであった。そして、令和４年６月 13 日から６月 21 日にかけて、13 か所の調査グリッド（１Ｇ～ 13 Ｇ）を設けて調査を実施したところ、中世の遺物の包含が認められた。これにより、当地が新たに埋蔵文化財包蔵地であることが判明し、令和４年９月７日付けで工事事業者から文化財保護法に基づく遺跡発見の届出を受け、当地を青葉南遺跡として周知するに至った。その後、さらに遺跡の包蔵状況の確認を行う必要が生じたため、改めて令和４年 10 月５日に２か所の調査グリッド（14 Ｇ・15 Ｇ）を設定し、追加の確認調査を実施したものである。



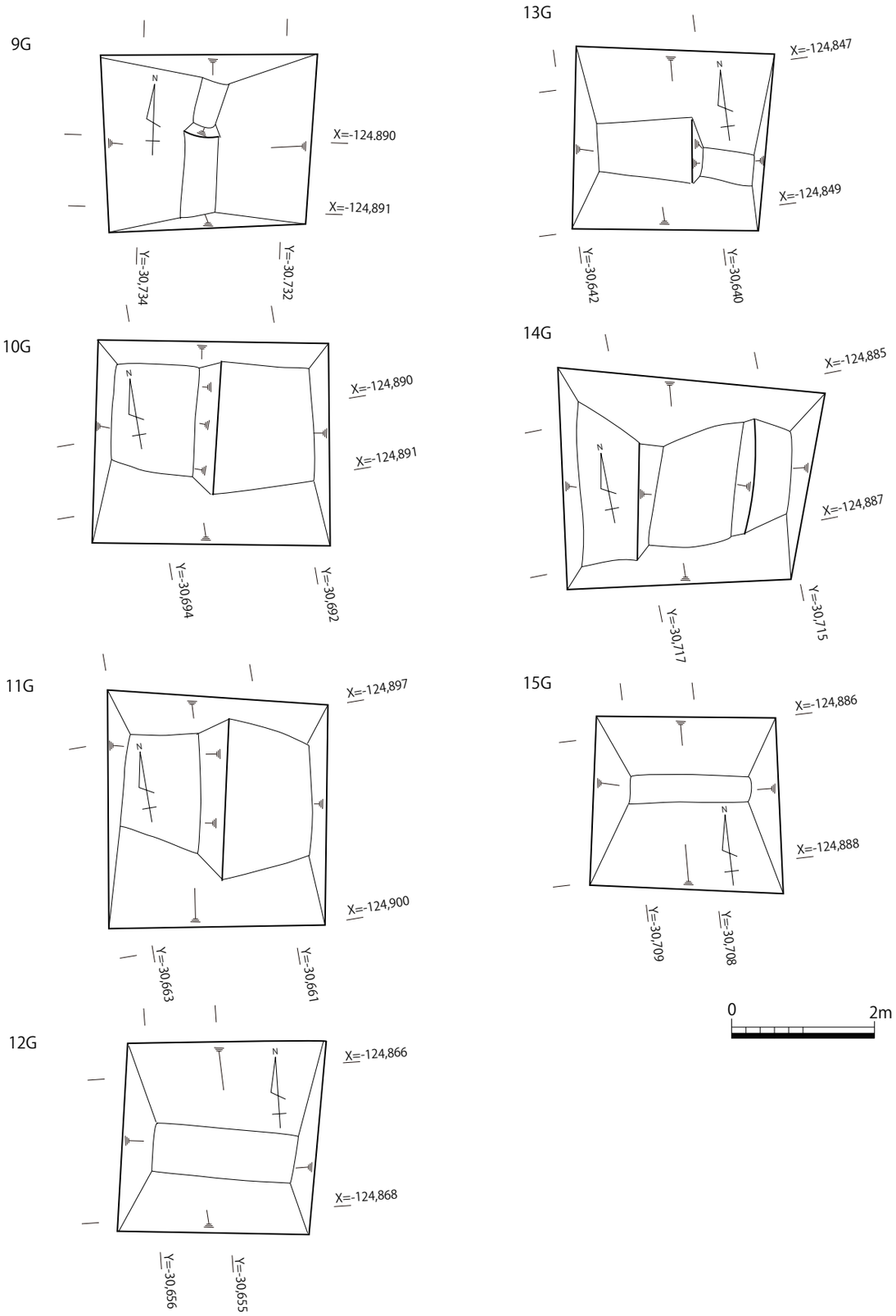
第５図　青葉地区（ＡＢＴ 22 －１）調査地位置図（1/2,500）

第46集.indd　8　　2023/03/09　17:13:37



第６図　青葉地区（ＡＢＴ 22－１）平面図①（1/80）

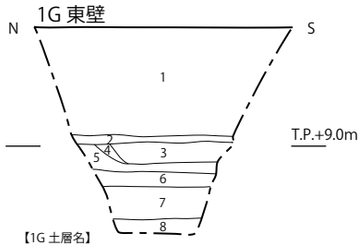
第46集.indd　9　　2023/03/09　17:13:37



第７図　青葉地区（ＡＢＴ 22－１）平面図②（1/80）

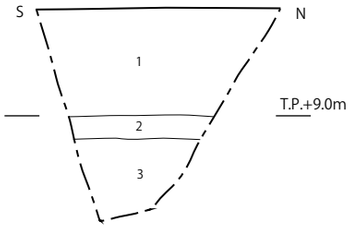
第46集.indd　10　　2023/03/09　17:13:37

1G 東壁



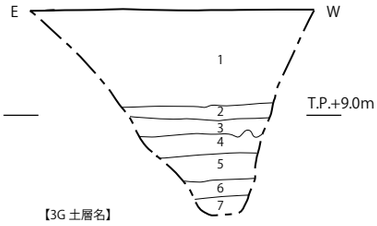
【1G 土層名】
1. 盛土
2. N3/0 暗灰色粘土〔旧耕土〕
3. 7.5Y7/1 灰白色砂礫 (鉄分色含む)
4. 10Y6/1 灰色粘土
5. 10Y6/1 灰色粘質土 (鉄分含む)〔遺物含む〕
6. N6/0 灰色粘土 (鉄分多く含む)
7. N5/0 灰色粘土 (鉄分含む)〔遺物含む〕
8. N5/0 灰色粘土

2G 西壁



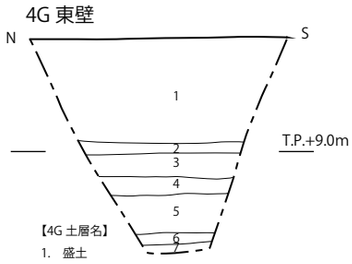
【2G 土層名】
1. 盛土
2. N3/0 暗灰色粘土〔旧耕土〕
3. 5GY7/1 明緑灰色粘土

3G 南壁



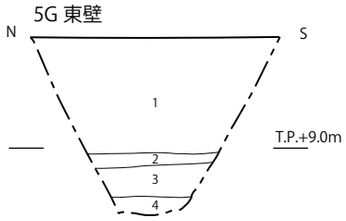
【3G 土層名】
1. 盛土
2. 5B4/1 暗青灰色粘質土〔旧耕土〕
3. 7.5YR7/4 にぶい橙色粘質土 (礫混じる)
4. 5G6/1 緑灰色粘土 (鉄分含む)
5. 7.5Y6/1 灰色粘土
6. 7.5Y6/1 灰色粘土 (7.5Y7/2 灰白色粘土混じる)
7. 10YR4/1 褐灰色粘質土

4G 東壁



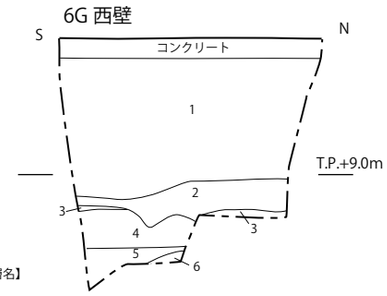
【4G 土層名】
1. 盛土
2. N3/0 暗灰色粘質土〔旧耕土〕
3. 7.5GY6/1 緑灰色粘質土 (砂礫混じる)
4. 10GY7/1 明緑灰色粘土 (鉄分含む)〔遺物含む〕
5. N5/0 灰色粘土 (鉄分含む)〔遺物含む〕
6. N5/0 灰色粘土 (ややシルト質)
7. 10YR4/1 褐灰色粘質土

5G 東壁



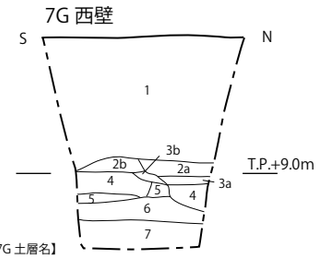
【5G 土層名】
1. 盛土
2. N4/0 灰色粘土〔旧耕土〕
3. 5GY7/1 明オリーブ灰色粘土 (鉄分含む)
4. 7.5Y6/1 灰色粘土

6G 西壁



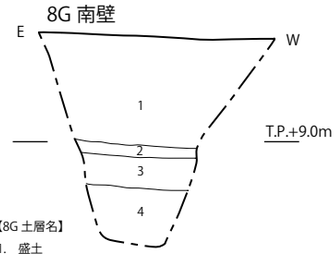
【6G 土層名】
1. 盛土
2. N4/0 灰色粘質土 (5G6/1 緑灰色粘質土混じる)〔旧耕土と床土の混合層〕
3. 7.5Y6/1 灰色粘土 (5G6/1 緑灰色粘質土小ブロック混じる)
4. 7.5Y6/1 灰色粘土〔遺物含む〕
5. 7.5Y6/1 灰色粘土 (7.5Y4/1 灰色粘土混じる)
6. 7.5Y6/1 灰色粘土と 5Y5/4 オリーブ色粘土の混合層

7G 西壁



【7G 土層名】
1. 盛土
2a. 4N/0 灰色粘質土〔旧耕土〕
2b. 10YR6/1 褐灰色粘質土 (鉄分含む)(旧耕土)
3a. 5B7/1 明青灰色粘質土
3b. 10YR5/4 にぶい黄褐色粘質土
4. 10YR6/2 灰黄褐色砂礫 (やや粘質)
5. 10YR6/4 にぶい黄燈色粘土〔鉄分含む〕
6. 7.5Y6/1 灰色粘土 (鉄分多く含む)〔遺物含む〕
7. 7.5Y5/1 灰色粘土 (鉄分含む)

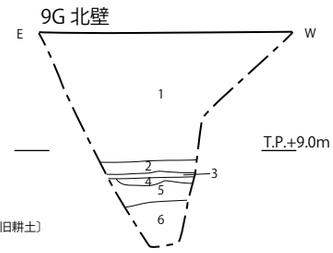
8G 南壁



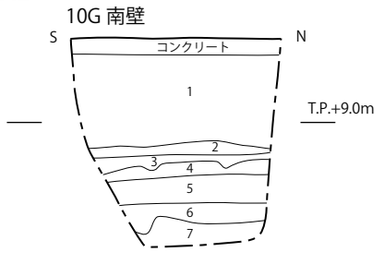
【8G 土層名】
1. 盛土
2. N4/0 灰色粘土〔旧耕土〕
3. 5GY7/1 明オリーブ灰色粘土
4. 7.5Y6/1 灰色粘土

第８図　青葉地区（ＡＢＴ 22 ー１）断面図①（1/80）

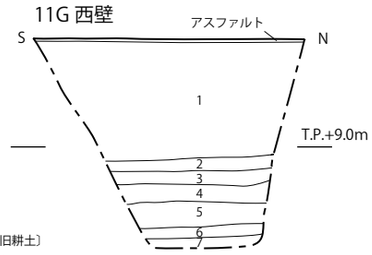
第46集.indd　11　　2023/03/09　17:13:37



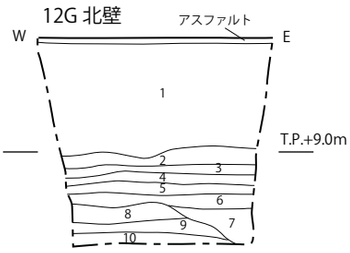
【9G 土層名】
1. 盛土
2. N5/0 灰色粘土〔旧耕土〕
3. N6/0 灰色粘土
4. 5BG6/1 青灰色砂礫 (鉄分含む)
5. 5GY7/1 明緑灰色粘土〔遺物含む〕
6. 7.5Y6/1 灰色粘土



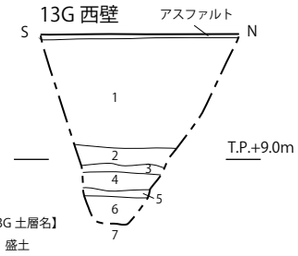
【10G 土層名】
1. 盛土
2. 5G7/1 明緑灰色粘質土 (N4/0 灰色粘質土〔旧耕土〕混じる)
3. 5GY 明オリーブ灰色粘質土と 10YR7/6 明黄褐色砂礫の混合層〔遺物含む〕
4. 5GY7/1 明オリーブ灰色粘土 (ややシルト質、鉄分多く含む)〔遺物含む〕
5. 7.5Y6/1 灰色粘土 (ややシルト質)〔遺物含む〕
6. 7.5Y7/3 浅黄色粘土 (7.5Y6/1 灰色粘土少量混じる、砂粒混じる)
7. 2.5Y4/2 暗灰黄色粘質土 (砂粒混じる)



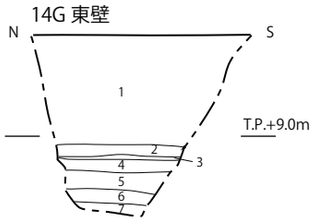
【11G 土層名】
1. 盛土
2. N4/0 灰色粘質土〔旧耕土〕
3. 7.5GY6/1 緑灰色粘土
4. 7.5Y6/1 灰色粘土 (鉄分含む)〔遺物含む〕
5. 10YR7/4 にぶい黄燈色粘質土 (ややシルト質、砂粒混じる)
6. 10YR6/6 明黄褐色粘質土 (ややシルト質、砂粒混じる)
7. 10YR6/4 にぶい黄燈色粘質土 (ややシルト質)



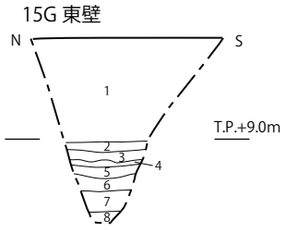
【12G 土層名】
1. 盛土
2. N4/0 灰色粘質土〔旧耕土〕
3. 10GR7/1 明緑灰色粘土
4. 5GY7/1 明オリーブ灰色粘土
5. 7.5Y7/1 灰白色粘土〔遺物含む〕
6. 7.5Y7/1 灰白色粘土 (5Y6/4 オリーブ黄色斑混じる、砂粒混じる)〔遺物含む〕
7. 5GY6/1 オリーブ灰色粘土〔遺物含む〕
8. 5Y5/4 オリーブ色粘土
9. 5Y4/4 暗オリーブ色粘土
10. 10YR5/4 にぶい黄褐色粘質土



【13G 土層名】
1. 盛土
2. 10YR5/3 にぶい黄褐色粘質土〔旧耕土〕
3. 10YR7/4 にぶい黄燈色砂質土
4. 10G7/1 明緑灰色粘土
5. 2.5Y7/2 灰黄色粘土 (ややシルト質)〔遺物含む〕
6. 10YR7/6 明黄褐色粘質土 (ややシルト質)
7. 2.5Y6/2 灰黄色砂質土



【14G 土層名】
1. 盛土
2. 7.5Y5/1 灰色粘質土
3. 7.5Y7/2 灰白色粘質土〔遺物含む〕
4. 10YR6/6 明黄褐色砂礫
5. 2.5Y7/2 浅黄色粘土
6. N5/0 灰色粘土〔遺物含む〕
7. N4/0 灰色粘土



【15G 土層名】
1. 盛土
2. N2/0 黒色土〔旧耕土〕
3. N3/0 暗灰色粘質土
4. 5GY6/1 オリーブ灰色粘質土
5. 5G5/1 緑灰色砂礫
6. 5G6/1 緑灰色粘土〔遺物含む〕
7. 7.5Y5/1 灰色粘土
8. 7.5Y4/1 灰色粘土

第９図　青葉地区（ＡＢＴ 22－１）断面図②（1/80）

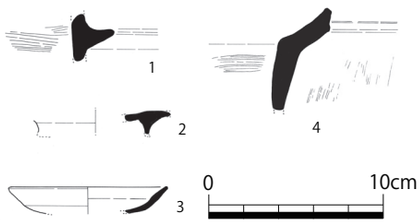
第46集.indd　12　　2023/03/09　17:13:37

（２）調査の成果

調査グリッドを掘削したところ、地表面から１m以上の厚さで現代盛土層があり、盛土層下に旧耕作土に伴う土層の堆積が認められた（14 G除く）。その下位においては、各グリッドによって状況は異なり、土層内含まれる鉄分の酸化度合により、灰色をベースとして青色・緑色系の土色が主となるもの、そして黄色系の土色が主となるものがみられ、主に粘質土・粘土層の堆積が認められた。また、１G・４G・７G・９G・10 G・14 G・15 Gにおいては、旧耕土層下や粘土層の間等に砂礫の堆積が認められ、これらのグリッド付近においてはある時期に水が流れる環境にあったことがうかがえる。

調査グリッドのうち、１G・４G・６G・７G・９G・10 G・11 G・12 G・13 G・14 G・15 Gの 11 か所においては、中世のものとみられる遺物（土師器、須恵器、瓦器等）が検出されたが、そのほとんどは磨滅した小片であり、出土量も数点と少量であり、他所からの流れ込みによる二次的な堆積のものと考えられる。その中で、10 Gにおいては、小片ではあるが、比較的多くの土器片（40 点以上）が出土した。おそらく 10 G近辺には中世の人々の生活圏があったなど、その人的活動地点が近い場所にあったと推定され、そのため比較的多くの土器片を含む土層が形成されたのではないかと考えられる。

今回の調査で出土した遺物は磨滅した小片ばかりであり、図化できたものは少なく４点のみとなる。１は、６G：第４層出土の瓦器羽釜の鍔片である。内面にはハケ目がみられる。２と３は、10 G：第３・４層出土のものである。２は、瓦器椀の底部片で、退化することなく比較的しっかりとした高台が付く。３は、土師器皿片である。口縁はやや外方へ開き気味となる。４は、13 G：第５層出土の土師器甕片である。口縁部はヨコナデ調整、体部内外面にはハケ目が残る。



第 10 図　青葉地区（ＡＢＴ 22－１）遺物実測図（1/4）

第46集.indd　13　　2023/03/09　17:13:37

第４節　広瀬地区（ＨＳ 22 －１　新堤内）

調査期間：令和４年８月３日（水）、令和４年８月５日（金）

調査地：大阪府三島郡島本町広瀬二丁目 233 番１

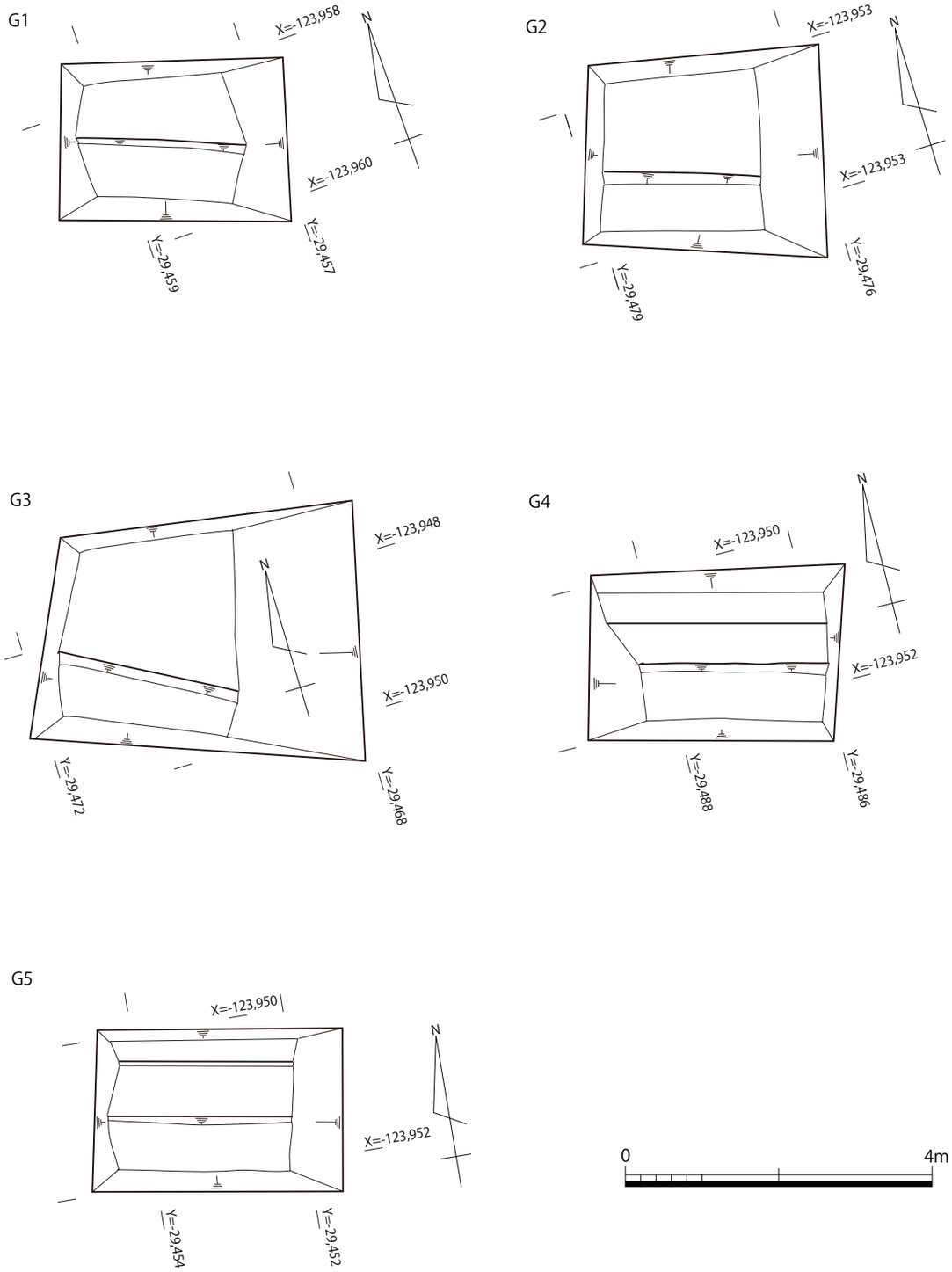
調査面積：40.9㎡

（１）調査の経過

今回の確認調査は、広瀬遺跡の包蔵地内である当調査地において共同住宅の建設が計画されたことにより、事前に遺構・遺物包含の有無を確認することを目的に実施したものである。調査については、５か所の調査グリッド（１Ｇ～５Ｇ）を設定し、重機を用いて実施した。

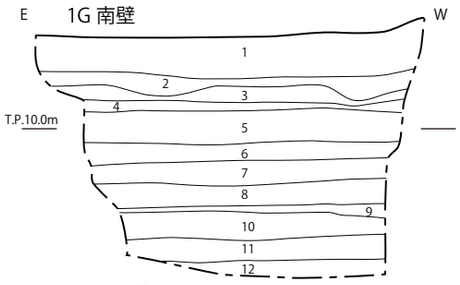
第 11 図　広瀬地区（ＨＳ 22 －１　新堤内）調査地位置図（1/2,500）

第46集.indd　14　　2023/03/09　17:13:38

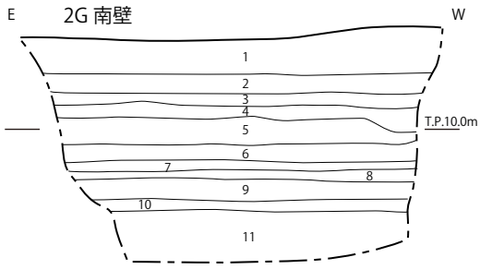


第 12 図　広瀬地区（ＨＳ 22 ― 1　新堤内）平面図（1/80）

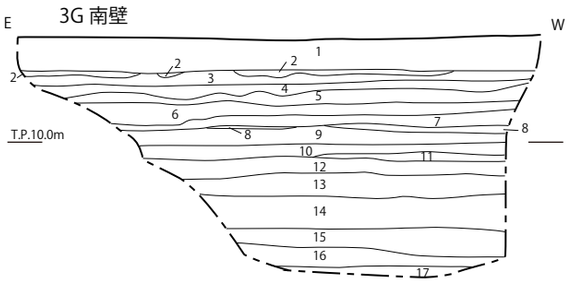
第46集.indd　15　　2023/03/09　17:13:38



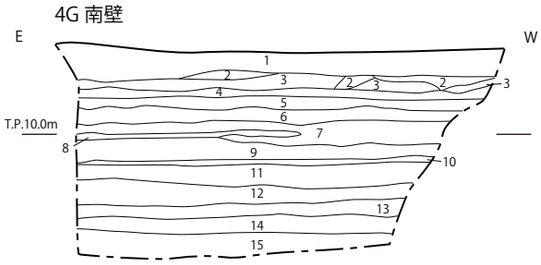
【1G 土層名】
1. 2.5Y5/1 黄灰色粘質土〔耕作土〕
2. 2.5Y8/3 淡黄色粘質土 (ややシルト質)〔遺物含む〕
3. 2.5Y7/1 灰白色粘質土 (ややシルト質)
4. 10YR7/6 明黄褐色粘質土 (ややシルト質)
5. 2.5Y6/1 黄灰色粘質土〔遺物含む〕
6. 10YR7/4 にぶい黄燈色粘質土
7. 10YR7/1 灰白色粘質土〔遺物含む〕
8. 10YR6/1 褐灰色粘質土〔遺物含む〕
9. 10YR7/6 明黄褐色粘質土
10. 10YR7/1 灰白色粘質土 (マンガン含む)
11. 10YR7/1 灰白色粘質土 (やや砂質、マンガン含む)
12. 10YR7/1 灰白色砂質土 (マンガン含む)



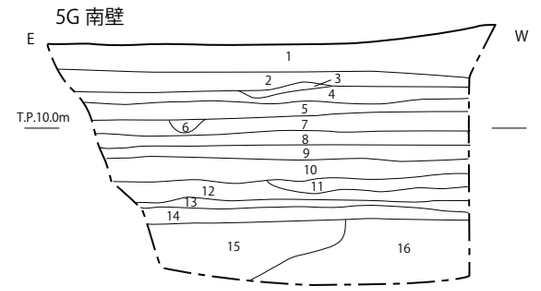
【2G 土層名】
1. 2.5Y5/1 黄灰色粘質土〔耕作土〕
2. 2.5Y8/3 淡黄色粘質土 (ややシルト質)
3. 2.5Y7/1 灰白色粘質土 (ややシルト質)
4. 10YR7/6 明黄褐色粘質土 (ややシルト質)
5. 2.5Y7/2 灰黄色粘質土 (ややシルト質)〔遺物含む〕
6. 10YR7/4 にぶい黄燈色粘質土
7. 2.5Y7/4 浅黄色粘質土〔遺物含む〕
8. 2.5Y7/6 明黄褐色粘質土〔遺物含む〕
9. 10YR6/1 褐灰色粘質土 (砂粒混じる)〔遺物含む〕
10. 10YR7/4 にぶい黄燈色粘質土〔遺物含む〕
11. 10YR6/1 褐灰色粘礫



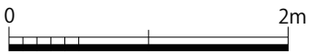
【3G 土層名】
1. 2.5Y5/1 黄灰色粘質土〔耕作土〕
2. 2.5Y8/3 淡黄色粘質土 (ややシルト質)
3. 2.5Y7/1 灰白色粘質土 (ややシルト質)〔遺物含む〕
4. 2.5Y8/3 淡黄色粘質土 (ややシルト質)
5. 2.5Y6/1 黄灰色粘質土 (ややシルト質)
6. 2.5Y8/3 淡黄色粘質土 (ややシルト質)
7. 2.5Y7/2 灰黄色粘質土 (ややシルト質)〔遺物含む〕
8. 2.5Y8/3 淡黄色粘質土 (ややシルト質)
9. 2.5Y7/1 灰白色粘質土 (ややシルト質)
10.10YR7/3 にぶい黄燈色粘質土
11.10YR7/4 にぶい黄燈色粘質土
12.10YR7/3 にぶい黄燈色粘質土〔遺物含む〕
13.10YR6/1 褐灰色粘質土 (砂粒混じる)〔遺物含む〕
14.10YR6/4 にぶい黄燈色粘質土 (マンガン少し含む)〔遺物含む〕
15.10YR6/4 にぶい黄燈色粘質土 (マンガンやや多く含む)
16.10YR6/4 にぶい黄燈色粘質土 (マンガン多く含む)
17.10YR7/1 灰白色粘礫



【4G 土層名】
1. 2.5Y5/1 黄灰色粘質土〔耕作土〕
2. 2.5Y8/3 淡黄色粘質土 (ややシルト質)
3. 2.5Y7/1 灰白色粘質土 (ややシルト質)
4. 2.5Y7/4 浅黄色粘質土 (ややシルト質)
5. 2.5Y6/1 黄灰色粘質土 (ややシルト質)
6. 10YR7/6 明黄褐色粘質土 (ややシルト質)
7. 2.5Y6/1 黄灰色粘質土〔遺物含む〕
8. 2.5Y8/3 淡黄燈色粘質土 (ややシルト質)
9. 10YR7/1 灰白色粘質土〔遺物含む〕
10.10YR7/4 にぶい黄橙色粘質土
11.10YR7/3 にぶい黄燈色粘質土〔遺物含む〕
12.10YR6/1 褐灰色粘質土 (砂粒混じる)〔遺物含む〕
13.10YR7/4 にぶい黄燈色粘質土〔遺物含む〕
14.10YR7/3 にぶい黄燈色粘質土 (マンガン含む)〔遺物含む〕
15.10YR7/3 にぶい黄燈色粘質土 (砂粒混じる、マンガン含む)



【5G 土層名】
1. 2.5Y5/1 黄灰色粘質土〔耕作土〕
2. 10YR8/6 黄燈色粘質土 (ややシルト質)
3. 10YR8/8 黄燈色粘質土 (ややシルト質)
4. 2.5Y6/1 黄灰色粘質土 (細礫混じる)
5. 2.5Y7/4 浅黄色粘質土 (砂粒・細礫混じる)
6. 2.5Y7/2 灰黄色砂質土
7. 2.5Y7/2 灰黄色粘質土 (ややシルト質)
8. 2.5Y7/3 浅黄色粘質土 (ややシルト質)〔遺物含む〕
9. 2.5Y7/6 明黄褐色粘質土 (ややシルト質)
10.2.5Y7/6 明黄褐色粘質土 (10YR6/1 褐灰色粘質土混じる、マンガン含む)
11.2.5Y7/6 明黄褐色粘質土 (マンガン含む)
12.10YR6/1 褐灰色粘質土 (マンガン含む)〔遺物含む〕
13.10YR7/6 明黄褐色粘質土
14.10YR7/2 にぶい黄燈色粘質土 (砂粒混じる、マンガン含む)〔遺物含む〕
15.10YR7/2 にぶい黄燈色砂質土 (マンガン含む)
16.10YR6/2 灰黄褐色砂質土 (細かい)



第 13 図　広瀬地区（ＨＳ 22 ― 1　新堤内）断面図（1/50）

第46集.indd　16　　2023/03/09　17:13:38

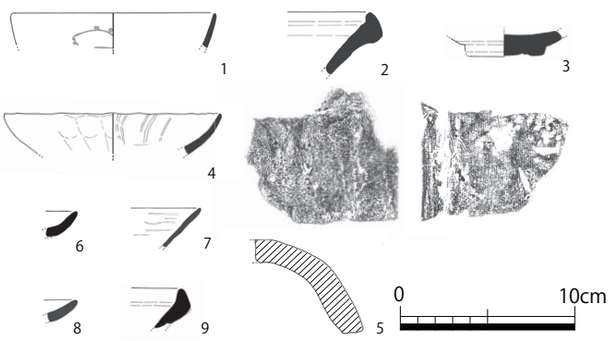
（２）調査の成果

調査グリッドを掘削したところ、耕作土層以下、主に黄灰色・灰白色等の灰色系と淡黄色・黄橙色等の黄・橙色系の粘質土層が互層的層序となり堆積し、地表面から概ね１ｍの深さで、各グリッド共通して褐灰色粘質土層の堆積が認められた。この褐灰色粘質土層下においては、主にマンガンを含む粘質土層の堆積があり、グリッドの底付近では、１Ｇと５Ｇで砂質土層、２Ｇと３Ｇで礫層の堆積が確認できた。

これら土層のうち、耕作土層下に互層的層序で堆積する灰色系と黄色系の粘質土は、その堆積状況からかつての耕作土と床土に相当するものであると考えられ、上位の土層内では少量の近世磁器片を含み、下位の土層内では中世の土師器・瓦器等の包含を確認した。そして、この灰色系と黄色系粘質土層下にみられる褐灰色粘質土層内においては、各調査グリッドで中世の遺物の包含が認められた。このことから、少なくとも褐灰色粘質土層の形成以降、すなわち中世以降、当地では現在に至るまで長く耕作地として土地利用されてきたと考えられる。また、褐灰色粘質土層下の堆積土層においても、２Ｇ～５Ｇで中世遺物の包含が認められた。

なお、今回出土した遺物については、小片ばかりで図化できたものは少ない。１は、１Ｇ：第２層出土の近世染付磁器椀片である。２は、２Ｇ：第９層出土の東播系須恵器鉢の口縁部である。３は、３Ｇ:第３層出土の近世施釉陶器の底部片である。内面ににぶい黄色の釉がかかる。４は、３Ｇ：第７層出土の近世染付磁器椀である。輪花状の口縁部で、残存部で内面にわずかに染付が残る。５は、３Ｇ：第 14 層出土の軒丸瓦片である。接合部で瓦当が外れている。残存部分で凸面には縄目痕が残り、凹面側は瓦当との接合のためにナデられているが、一部に布目痕が残る。側面はヘラナデされている。６は、４Ｇ：第 11 層出土の土師器皿片である。７は、４Ｇ:第 12 層出土の瓦器椀片である。内面に粗いミガキが認められる。８・９は、５Ｇ：第 12 層出土で、８は土師器皿片、９は東播系須恵器鉢片である。

これら遺物のうち、１・３・４は近世のもので、いずれも褐灰色粘質土層より上位の土層内からの出土である。そして、２・６・８・９は褐灰色粘質土層内出土、５・７は褐灰色粘質土層より下位の土層内出土のもので、いずれも中世の所産とみられる。



第 14 図　広瀬地区（ＨＳ 22 ー１　新堤内）遺物実測図（1/4）

第46集.indd　17　　2023/03/09　17:13:38

第５節　広瀬地区（ＨＳ 22 －２　内街道）

調査期間：令和４年 11 月 30 日（水）

調査地：大阪府三島郡島本町広瀬四丁目 594 番 16

調査面積：6.0㎡

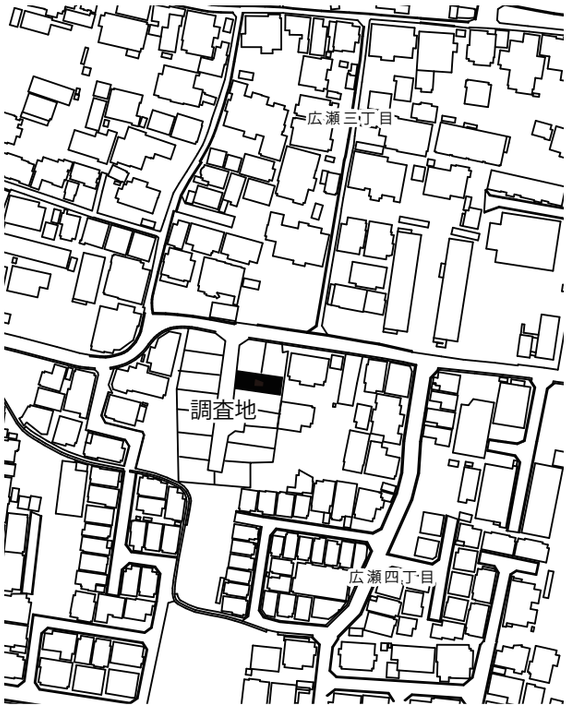
（１）調査の経過

今回の確認調査は、広瀬遺跡の包蔵地内である当調査地において個人住宅の建築が計画されことにより実施したものである。今回の調査地については、当地を含めた一帯の宅地造成時に道路敷設部分について発掘調査を実施し、中世の遺構・遺物を確認しており、予定される建築工事では一部遺跡に影響を及ぼすと考えられたことから、事前に必要箇所について調査を実施した。調査については、調査グリッドを１か所設定し、重機を用いて実施した。

（２）調査の成果

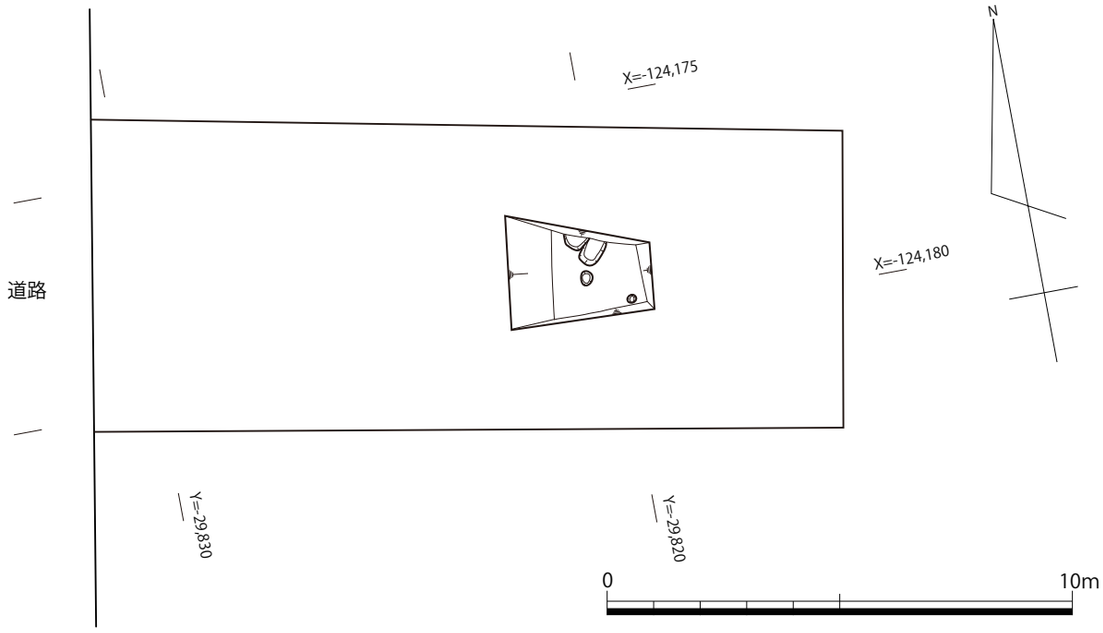
調査グリッドを掘削したところ、盛土層（第１層）・旧耕土層（第２層）以下、明オリーブ灰色粘質土層（第３層）、にぶい黄橙色粘質土層（第４層）、にぶい黄橙色粘質土（マンガン含む）層（第５層）、にぶい黄橙色粘質土層（第６層）の堆積を確認することができた。第３層と第４層については旧耕土層に伴う床土層に相当する。これらの土層内からは、旧耕土層内においても土器の細片が含むなど、第２層から第５層までの土層に小片ながら中世のものとみられる多くの遺物が含まれていた。そして、第５層下の第６層上面において、ピットを４基検出することができた。

ピットのうちＰ１については径 24 ～ 26㎝を測り、約 26㎝の深さまで掘り込まれ、その形状から柱穴跡であると考えられる。他のピットについては、Ｐ２が径 13 ～ 17㎝、深さ３㎝を測り、Ｐ３とＰ４は部分的な検出であったが、検出部最大長が、Ｐ３で 58㎝、Ｐ４で 57㎝を測り、深さはそれぞれ約 10㎝を測った。そして、Ｐ１とＰ４内からは、鎌倉時代のものと考えられる土師器片・瓦器片が出土した。おそらく今回検出したピットについては、鎌倉時代のものであろうと考えられる。なお、今回出土した遺物は小片で、実測できるものはなかった。

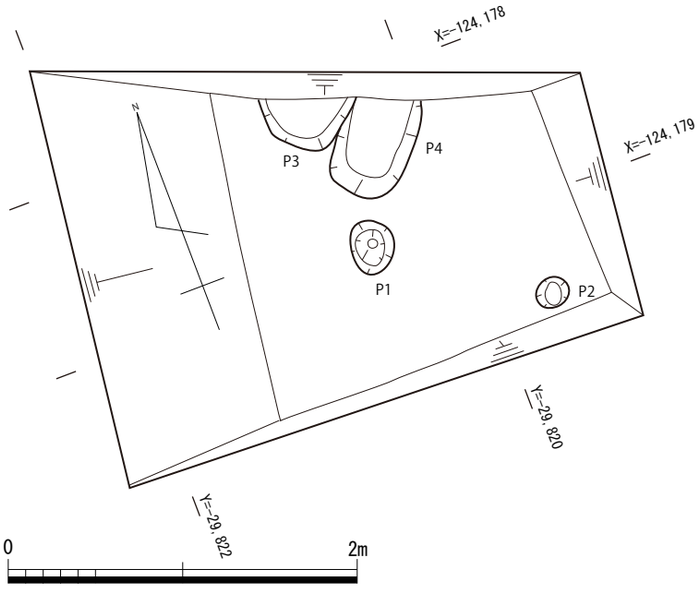


第 15 図　広瀬地区（ＨＳ 22 －２　内街道）調査地位置図（1/2,500）

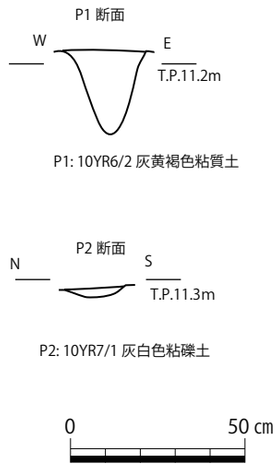
第46集.indd　18　　2023/03/09　17:13:39



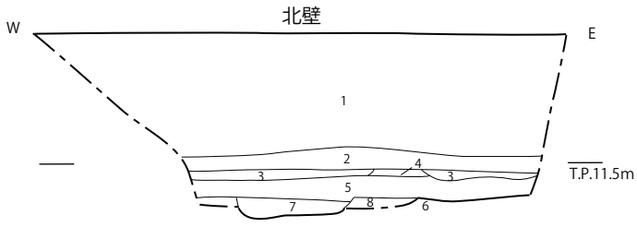
第 16 図　広瀬地区（ＨＳ 22 －２　内街道）調査グリッド配置図（1/150）



第 17 図　広瀬地区（ＨＳ 22 －２　内街道）遺構平面図（1/40）



第 19 図　広瀬地区（ＨＳ 22 －２　内街道）
遺構断面図（1/20）



1. 盛土
2. 10YR4/1 褐灰色土 (旧耕土)
3. 5GY7/1 明オリーブ灰色粘質土 (旧床土)
4. 10YR7/3 にぶい黄燈色粘質土 (旧床土)
5. 10YR7/3 にぶい黄燈色粘質土〔マンガン含む〕
6. 10YR7/3 にぶい黄燈色粘質土
7. 10YR7/3 にぶい黄燈色粘質土に 10YR7/1 灰白色砂混じる〔小礫多く混じる〕(P3)
8. 10YR6/2 灰黄色粘質土〔礫混じる〕(P4)

0　2m

第 18 図　広瀬地区（ＨＳ 22 －２　内街道）調査グリッド断面図（1/40）

第46集.indd　19　　2023/03/09　17:13:39

第６節　山崎地区（ＹＮ 22 －１　後山）

調査期間：令和４年 10 月 13 日（木）

調査地：大阪府三島郡島本町山崎四丁目 844 番１、874 番２、870 番１、871 番１、872 番、843 番２

調査面積：13.4㎡

（１）調査の経過

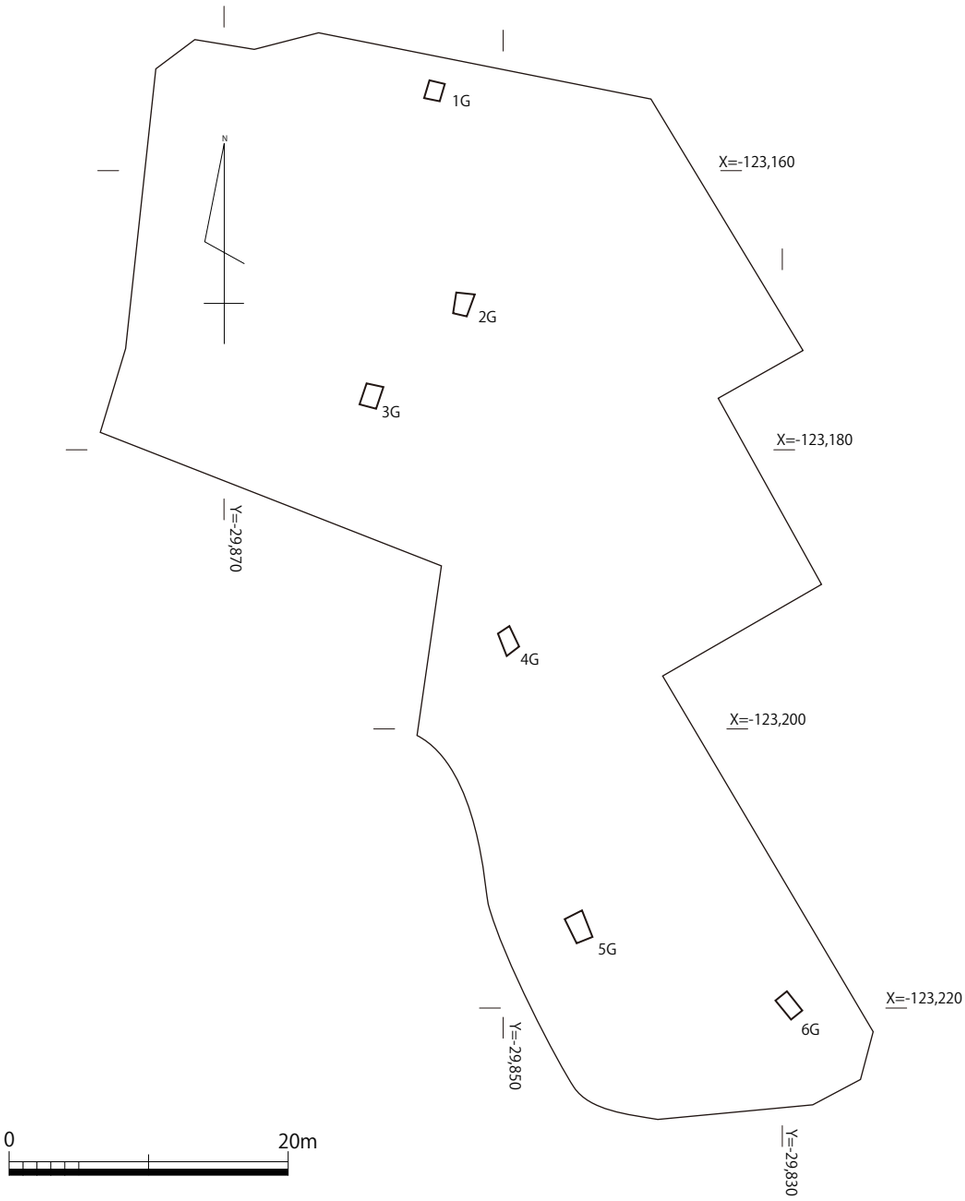
今回の確認調査は、山崎西遺跡包蔵地内である当調査地において宅地造成が計画されたことから、事前に遺構・遺物包含の有無を確認することを目的に実施したものである。調査については、６か所の調査グリッド（１Ｇ～６Ｇ）を設定し、重機を用いて実施した。

（２）調査の成果

調査地は丘陵斜面地上にあり、北側から南側にかけて低くなる。調査グリッドを掘削したところ、表土・盛土層以下、１Ｇ～５Ｇにおいては主に黄橙色・黄褐色の粘質土層の堆積があり、６Ｇにおいては主に青灰色の粘質土・砂層の堆積が認められたが、遺構・遺物については確認することはできなかった。

第 20 図　山崎地区（ＹＮ 22 －１）調査地位置図（1/2,500）

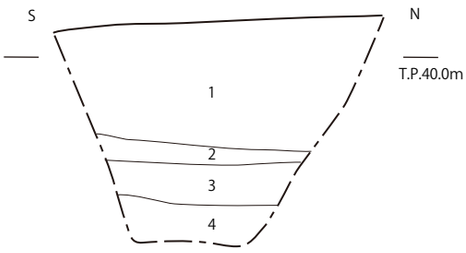
第46集.indd　20　　2023/03/09　17:13:39



第 21 図　山崎地区（ＹＮ 22 ― 1）平面図（1/500）

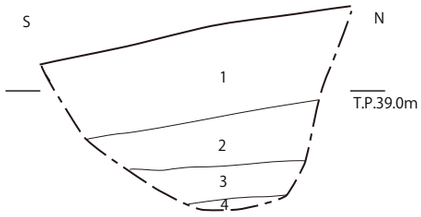
第46集.indd　21　　2023/03/09　17:13:39

1G 西壁



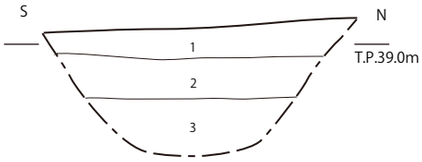
【1G】
1. 盛土
2.10YR3/1 黒褐色土 (旧表土)
3.10YR7/4 にぶい黄燈色粘質土 (旧表土混じる)
4.10YR6/4 にぶい黄燈色粘質土 (礫少量混じる)

2G 西壁



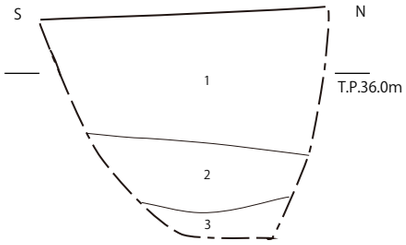
【2G】
1. 盛土 (旧表土 10Y4/1 灰色土多く混じる)
2.10YR6/6 明黄褐色粘質土 (旧表土混じる)
3.10YR5/6 黄褐色粘質土 (粘土小ブロック混じる)
4.10YR5/6 黄褐色粘質土 (粘土小ブロック、礫混じる)

3G 西壁



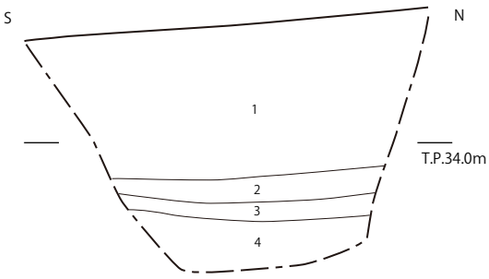
【3G】
1. 盛土 (旧表土 10YR4/1 灰色土混じる)
2.10YR7/4 にぶい黄燈色粘質土 (粘土小ブロック混じる)
3.10YR7/6 明黄褐色粘質土 (礫混じる)

4G 西壁



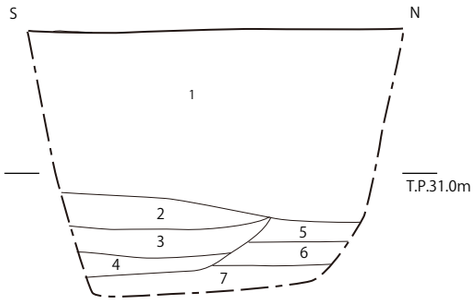
【4G】
1. 盛土 (旧表土 10YR4/1 灰色土が多く混じる)
2.10YR6/6 明黄褐色粘質土 (10Y4/1 灰色土小ブロック、砂礫混じる)
3.10YR5/6 黄褐色粘質土 (砂礫混じる)

5G 西壁



【5G】
1. 盛土
2.10YR3/1 黒褐色土 (旧表土)
3.10YR6/6 明黄褐色粘質土 (粘土小ブロック混じる)
4.10YR5/6 黄褐色粘質土

6G 西壁



【6G】
1. 盛土 (10G6/1 緑灰色粘質土と 10YR7/4 にぶい黄燈色粘質土の混合層)
2.5B7/1 明青灰色粘質土
3.5B6/1 青灰色粘土
4.5B6/1 青灰色粘土と 10YR7/2 にぶい黄燈色砂の混合層
5.4 層より多く 10YR7/2 にぶい黄燈色砂含む
6.10YR6/6 明黄褐色粘質土
7.5B6/1 青灰色粘土

第 22 図　山崎地区（ＹＮ 22 ー１）断面図（1/40）

第46集.indd　22　　2023/03/09　17:13:39

第７節　桜井地区（ＳＩＴ 22 － 1）

調査期間：令和４年 12 月９日（金）～令和４年 12 月 11 日（日）

調査地：大阪府三島郡島本町桜井二丁目１番１号

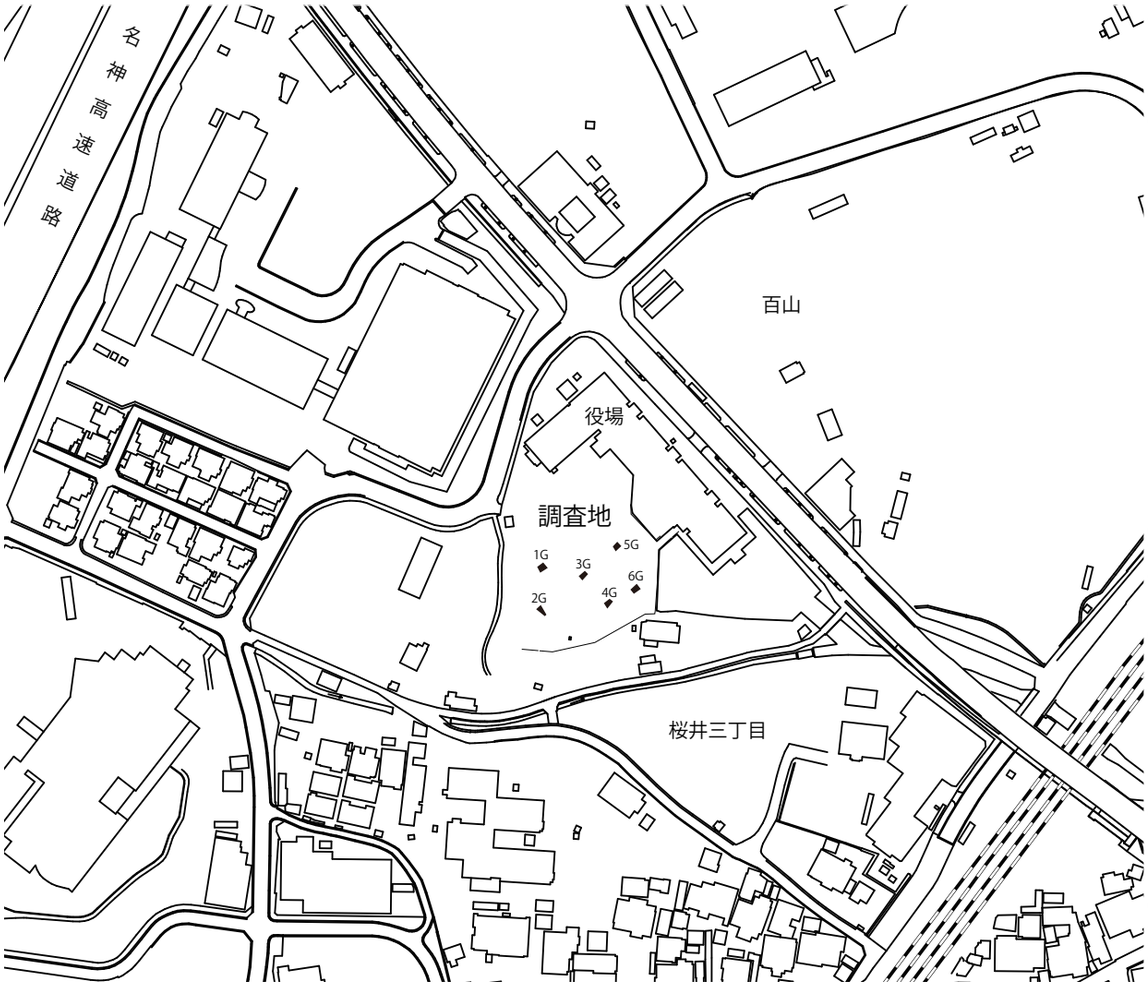
調査面積：54.0㎡

（１）調査の経過

今回の試掘調査は、島本町役場の新庁舎建設計画に伴うもので、計画地は埋蔵文化財包蔵地外ではあったが、事前に遺構・遺物包含の有無を確認することを目的に実施したものである。調査については、６か所の調査グリッド（１Ｇ～６Ｇ）を設定し、重機を用いて実施した。

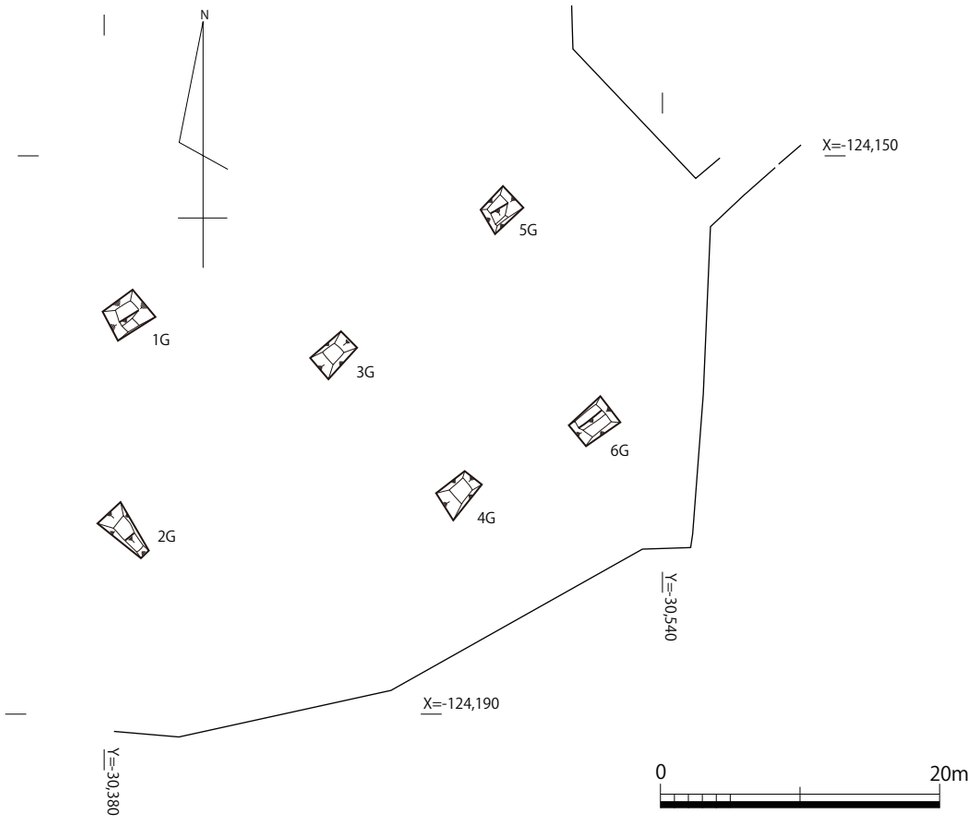
（２）調査の成果

調査グリッドを地表面から 3.5 mの深さまで掘削したところ、調査地はかつて池であった場所の埋立地であることから、各グリッドでは厚く盛土が認められるのみで、遺構・遺物は確認できなかった。

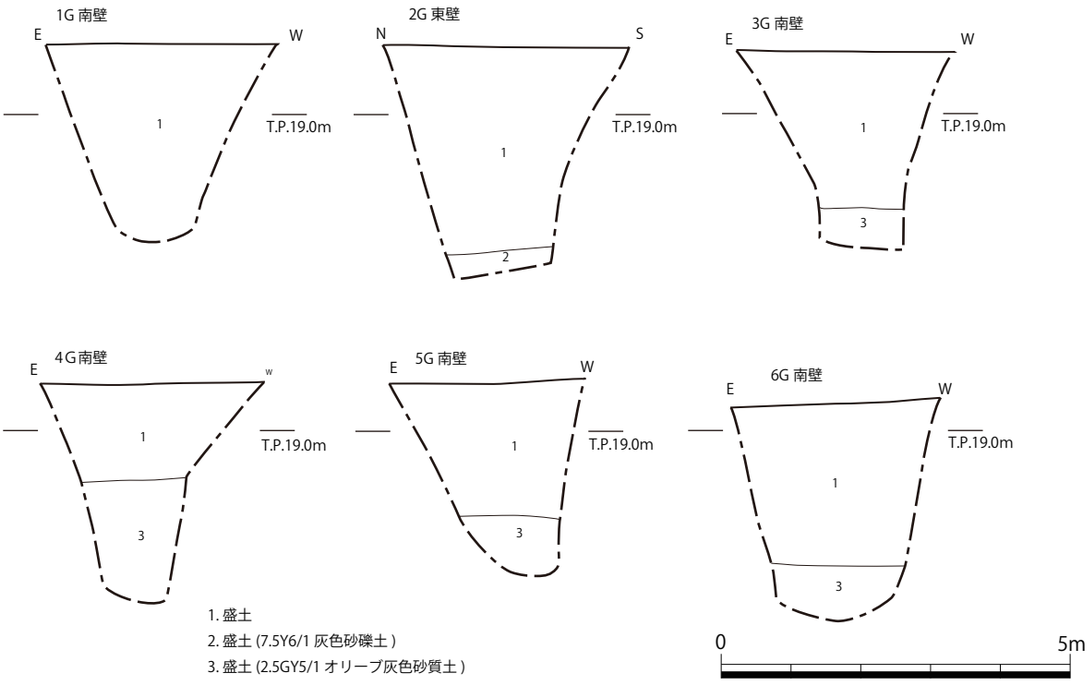


第 23 図　桜井地区（ＳＩＴ 22 － 1）調査地位置図（1/2,500）

第46集.indd　23　　2023/03/09　17:13:40



第 24 図　桜井地区（ＳＩＴ 22－1）平面図（1/500）



第 25 図　桜井地区（ＳＩＴ 22－1）断面図（1/100）

第46集.indd　24　　2023/03/09　17:13:40

第３章　令和４年度埋蔵文化財発掘調査概要

この章では、島本町内で令和４年度に実施した埋蔵文化財調査についての概要を報告する。

令和４年度の文化財保護法第 93 条第１項・第 94 条第１項に基づく「埋蔵文化財発掘の届出・通知」（以下届出・通知と表記する）件数は、令和５年３月３日の時点で 88 件をかぞえ、これらに対する指導事項の内訳は、発掘調査２件、確認調査４件、立会調査 70 件、慎重工事 12 件、注意１件、指導事項未決定１件である。

届出・通知のあった遺跡は、埋蔵文化財包蔵地としての範囲が広く、住宅が密集する広瀬遺跡が 37 件と最も多く、次いで水無瀬離宮跡と水無瀬荘跡が各 12 件、桜井遺跡と尾山遺跡が７件と続く。令和３年度の届出・通知件数は 95 件であるが、令和４年３月３日時点だと 89 件であり、令和４年度の届出・通知件数は、令和３年度とほぼ同数である。

また、島本町では、平成 20 年７月１日より文化財保護条例を施行し、条例の第 18 条第４項において「埋蔵文化財の包蔵地が周知されている土地以外の土地において、土木工事その他埋蔵文化財の調査以外の目的で掘削しようとするときは、その内容について教育委員会と協議する」ことを定めた。この条例の規定により、周知の埋蔵文化財包蔵地外においても届出（「土木工事計画届出書」）の提出をお願いし、協議すると共に指導を行った。その指導事項の内訳は、付表３のとおり、全 75 件のうち、試掘調査３件、立会調査 40 件、慎重工事 32 件である。令和元年度～令和３年度は、土木工事計画届出書の件数は 50 件前後であり、令和４年度の土木工事計画届出書の件数は、約 1.5 倍となっている。

道路	０件	鉄道	０件	空港	０件	河川	２件	港湾	０件
ダム	０件	学校	０件	宅地造成	３件	個人住宅	29 件	分譲住宅	12 件
共同住宅	４件	兼用住宅	０件	その他住宅	０件	工場	０件	店舗	０件
その他建物	３件	土地区画整理	０件	公園造成	２件	ゴルフ場	０件	観光開発	０件
ガス	８件	電気	11 件	水道	４件	下水道	４件	電話通信	５件
農業基盤	０件	農業関係	０件	土砂採取	０件	その他開発	１件		

付表２　令和４年度　埋蔵文化財発掘の届出・通知の工事目的内訳

道路	２件	鉄道	０件	空港	０件	河川	１件	港湾	０件
ダム	０件	学校	０件	宅地造成	０件	個人住宅	20 件	分譲住宅	７件
共同住宅	８件	兼用住宅	０件	その他住宅	０件	工場	１件	店舗	３件
その他建物	１件	土地区画整理	２件	公園造成	２件	ゴルフ場	０件	観光開発	０件
ガス	６件	電気	11 件	水道	３件	下水道	１件	電話通信	３件
農業基盤	０件	農業関係	０件	土砂採取	０件	その他開発	４件		

付表３　令和４年度　土木工事計画届出書の工事目的内訳

第46集.indd　25　　2023/03/09　17:13:40

報　告　書　抄　録

ふりがな	しまもとちょうぶんかざいちょうさほうこくしょ
書名	島本町文化財調査報告書
副書名	水無瀬地区・青葉地区・広瀬地区・山崎地区・桜井地区遺跡範囲確認調査概要報告
巻次	
シリーズ名	島本町文化財調査報告書
シリーズ番号	第46集
編著者名	木村　友紀、賀納　章雄、坂根　瞬
編集機関	島本町教育委員会事務局　教育こども部　生涯学習課
所在地	〒618-8570　大阪府三島郡島本町桜井二丁目1番1号　℡.075-961-5151
発行年月日	令和5年3月31日

ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡	所在地	市町村	遺跡番号				(㎡)	
遺跡範囲								
ほうぞうちがい 包蔵地外 （ＭＳＴ22－1）	しまもとちょうみなせ 島本町水無瀬二丁目 729番1、729番5	27301		34° 52′ 44″	135° 39′ 56″	2022.05.11/ 2022.05.18	15.4	共同住宅建設工事に伴う試掘調査
あおばみなみいせき 青葉南遺跡 （ＡＢＴ22－1）	しまもとちょうあおば 島本町青葉三丁目 150番	27301	30	34° 52′ 37″	135° 39′ 41″	2022.06.13～ 2022.06.21/ 2022.10.05	118.4	共同住宅建設工事に伴う試掘調査
ひろせいせき 広瀬遺跡 （ＨＳ22－1 新堤内）	しまもとちょうひろせ 島本町広瀬二丁目 233番1	27301	14	34° 53′ 03″	135° 40′ 20″	2022.8.3/ 2022.8.5	40.9	共同住宅建設工事に伴う確認調査
ひろせいせき 広瀬遺跡 （ＨＳ22－2 内街道）	しまもとちょうひろせ 島本町広瀬四丁目 594番16	27301	14	34° 53′ 03″	135° 40′ 20″	2022.11.30	6.0	個人住宅建設工事に伴う確認調査
やまざきにしいせき 山崎西遺跡 （ＹＮ22－1 後山）	しまもとちょうやまざき 島本町山崎四丁目 844番1、874番2、 870番1、871番1、 872番、843番2	27301	18	34° 53′ 30″	135° 40′ 15″	2022.10.13	13.4	宅地造成工事に伴う確認調査
ほうぞうちがい 包蔵地外 （ＳＩＴ22－1）	しまもとちょうさくらい 島本町桜井二丁目 1番1	27301		34° 53′ 00″	135° 39′ 46″	2022.12.9～ 2022.12.11	54.0	役場庁舎建設工事に伴う試掘調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
ほうぞうちがい 包蔵地外 （ＭＳＴ22－1）	－	中世	なし	土師器・須恵器	なし
あおばみなみいせき 青葉南遺跡 （ＡＢＴ22－1）	散布地	中世	なし	土師器・須恵器・瓦器	なし
ひろせいせき 広瀬遺跡 （ＨＳ22－1　新堤内）	集落	中世 近世	なし	土師器・須恵器・瓦器・瓦・陶磁器	なし
ひろせいせき 広瀬遺跡 （ＨＳ22－2　内街道）	集落	中世	ピット	土師器・瓦器	なし
やまざきにしいせき 山崎西遺跡 （ＹＮ22－1　後山）	散布地	－	なし	なし	なし
ほうぞうちがい 包蔵地外 （ＳＩＴ22－1）	－	－	なし	なし	なし

第46集.indd　26　　2023/03/09　17:13:40

図　　版

第46集.indd　28　　2023/03/09　17:13:40

図版一　水無瀬地区（MST22—1）

1G 掘削作業風景（西から）

3G 近景（南西から）

1G 南壁

3G 南壁

2G 近景（北から）

4G 近景（南東から）

2G 南壁

4G 南壁

第46集.indd　1　　2023/03/09　17:13:40

図版二　青葉地区（ABT22―1）（一）

1G 近景（東から）

4G 東壁

1G 東壁

5G 東壁

2G 西壁

6G 西壁

3G 南壁

7G 西壁

図版三　青葉地区（ABT22―1）（二）

8G 南壁

11G 西壁

9G 北壁

12G 北壁

10G 近景（南から）

13G 近景（南西から）

10G 西壁

13G 西壁

第46集.indd　3　　2023/03/09　17:13:41

図版四　広瀬地区（HS22-1　新堤内）

1G 近景（北から）

3G 南壁

1G 南壁

4G 南壁

2G 近景（北から）

5G 南壁

2G 南壁

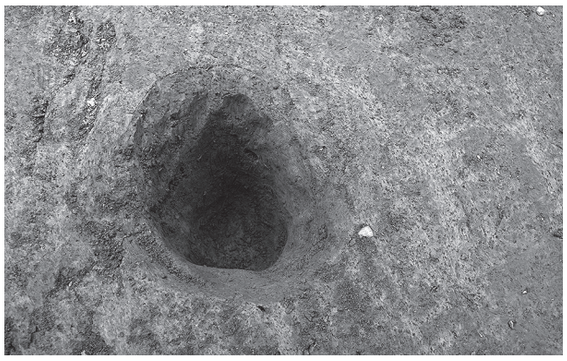
実測風景

図版五　広瀬地区（ＨＳ22－２　内街道）

調査地近景（西から）

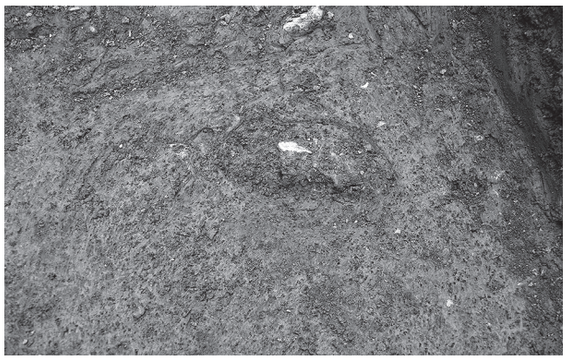
Ｐ１（半掘）

調査区北壁



Ｐ１（完掘）

遺構検出状況（西から）



Ｐ２

遺構検出状況（南から）

Ｐ３・Ｐ４

図版六　山崎地区（YN22-1　後山）

調査地近景（北から）

4G 西壁

1G 西壁

5G 西壁

2G 西壁

6G 西壁

3G 西壁

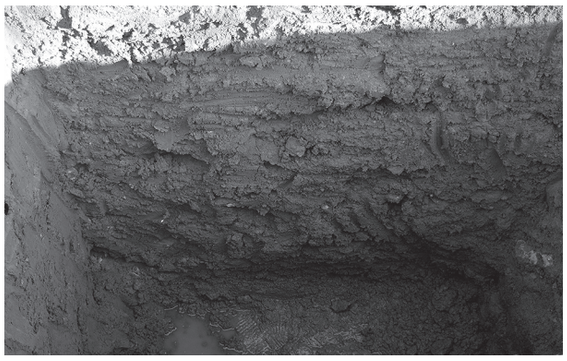
6G 掘削状況（南から）

図版七　桜井地区（SIT22-1）（一）

1G 近景（北から）

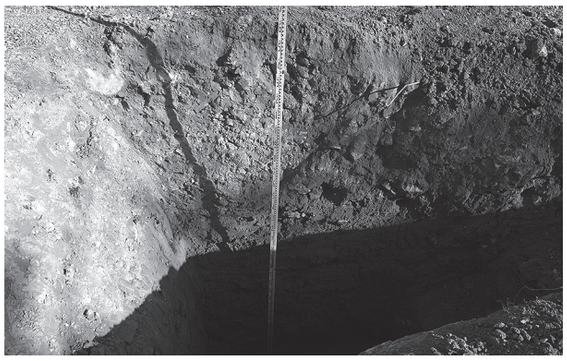
2G 近景（北から）

1G 南壁



2G 東壁

1G 南壁



2G 東壁

2G 掘削風景（北から）

3G 掘削風景（南から）

図版八　桜井地区（SIT22-1）（二）

3G 近景（南から）

5G 掘削風景（西から）

3G 西壁

5G 南壁

4G 掘削風景（北から）

6G 近景（北から）

4G 南壁

6G 南壁

島本町文化財調査報告書　第 46 集

発　行　島本町教育委員会
〒 618-8570　大阪府三島郡島本町桜井二丁目 1 番 1 号
℡ 075-961-5151
発行日　令和 5 年 3 月 31 日
印　刷　三星商事印刷株式会社
〒 602-8358　京都市上京区七本松通下長者町下ル三番町 273 番
℡ 075-467-5151

表紙（第46集）.indd　4　　2023/03/08　16:47:18

表紙（第46集）.indd　6　　2023/03/08　16:47:18